

令和元年度

事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

第 1 章 法人本部の活動

1 法人の概要

法人名 社会福祉法人やすらぎ会
 代表者 理事長 高橋一雄
 所在地 岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割135番地
 認可年月日 平成9年11月4日
 認可番号 岩手県指令長606号
 設立登記年月日 平成9年11月10日

2 法人の行う事業

(1) 社会福祉事業

	事業開始年月日	施設・事業種別	施設名・指定事業所名	定員
第一種 社会福祉事業	平成10年4月1日	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームぶなの園	52
第二種 社会福祉事業	平成6年4月1日	老人デイサービス事業	デイサービスセンターかたくりの園	30
	平成10年4月1日	老人デイサービス事業	デイサービスセンターぶなの園	10
	平成10年4月1日	老人短期入所事業	ショートステイぶなの園	8
	平成10年4月1日	老人居宅介護等事業	ホームヘルプステーションぶなの園	
	平成18年4月1日	障害者福祉サービス事業	ホームヘルプステーションぶなの園	

(2) 公益事業

	事業開始年月日	事業種別	事業所名・商号等	定員・規模
公益事業	平成6年4月1日	高齢者生活福祉センター	高齢者生活福祉センター かたくりの園	
	平成12年4月1日	居宅介護支援事業	西和賀介護相談室	
	平成18年2月1日	一般乗用旅客自動車運送事業	ぶなの園営業所	

3 法人経営の概況

(1) 総括事項

令和元年度の事業活動計算書による経常収支では、経常収益373,480千円（前年比18,274千円増）経常費用365,227千円（前年比16,341千円増）となり、経常収益8,253千円（前年比16,340千円増）を計上するに至った。これにより次期繰越活動増減差額は149,597千円（前年比11,253千円増）となった。

今年度は、第3次中長期計画（5年間）における最終年度でもあり、これまでの各部門で掲げてきた経営指標の設定や介護の質を上げる取り組みが定着化してきたところで、介護体制加算の上位算定等により介護報酬の増に繋がっている。

特にサービス活動収益は367,774千円と、この5年間で39,672千円の伸びとなっており、前年対比では、16,714千円の増となった。

職員の処遇改善については、10月から技能・経験のある職員の評価を目的とした「介護職員等特定処遇改善加算」が加わったことで、介護職員以外の職員にまで対応することが可能

となった。加えて岩手県の最低賃金の改定により初任給基準を改める必要を認めたことから、臨時職員や短時間勤務職員含めた職員給与の改定に取り組んだ。

運営に関しては、社会福祉法人制度改正（平成28年3月）以降、施設長の交替が6月にあったところで、県南振興局による介護保険施設の実地指導や県による社会福祉法人に係る指導監査が相次ぎ、やすらぎ会で定める定款や規程について見直しや体制整備を求められる等対応に追われた。

給食業務委託においては、委託業者から人材不足による完全調理品の導入を示唆されたことに伴い、給食サービスの低下を招かないよう委託契約を解除し、令和2年4月からの直営化の方針を固め厨房部門を整備し体制を整えた。

また、介護人材の確保の観点から外国人材の採用・育成事業に着手したところで、モンゴルからの技能実習生2名を3月に予定していたが、新型コロナウイルスの影響から3月末時点で入国には至っていない。当法人への受入は早くも8月頃とされており、住まいや生活用品の整備は新年度事業において対応することとした。

人口減少が進む中で、介護を担う人材の確保が困難な状況から、サービス毎の人員配置基準を満たすための手段として、退職後の再雇用制度を改め、高齢者雇用も視野に入れ就業規則、給料規程等の整備を行った。

資産においては、リフト付き送迎車両、低床ベット、車椅子介護浴槽（かたくりの園）他4点（総額12,026千円）を整備しサービス体制を整えることが出来た。

(2) 運営の状況

社会福祉法人制度改正を受け、組織のコンプライアンスの徹底、ガバナンスや財務規律の強化等事業運営における改善と透明性が求められるようになった。加えて事業の公益性を発揮し地域貢献活動の展開も義務付けられるなど社会福祉法人による経営のあるべき姿を示されるなかで、令和元年度運営方針に沿って法人運営の状況をまとめる。

ア 安定した経営・運営の確立

全ての事業所毎に経営状況を分析したサービス課題を明確にすることで、業務改善やコスト削減を意識し取り組んできた。

施設の長寿命化については、計画に沿って車輛や車椅子介護浴槽の更新、低床ベットの整備に取り組んだが、突発的な受水槽の修繕等も重なり施設の水回りの改修は翌年度事業として繰り越すこととした。

働き方改革改正法に沿った対応と人件費比率の適正化については、給食業務の直営化や介護職員等特定処遇改善加算や最低賃金改定への対応により、就業規則や給料規程を見直すきっかけとなり人材不足の中で一定の処遇改善に取組めたと評価する。

一方、人件費比率については令和2年度で71%まで上昇させる要因となった。

イ 法人運営の根幹である運営理念の浸透

運営理念の浸透については、課長会議で意見交換してきたところだが、これまでの運営理念は「誰にでもわかりやすく」に欠けるところがあり、基本方針と共に時代の変化に合わせ、「今、大事にしたい思い」を込めて組み立てることが望ましいと判断したところである。このことから第4次中長期計画のコンセプトとして示した「人にやさしく 笑顔でつくる 利他の心」を候補に掲げ、利用者の尊厳を守り、寄り添う介護の提供を基本方針として翌年度に引継ぎ組み立てようとするところである。

ウ 職員のキャリアパスに向けた人材育成

法人内で開催している「事例研究発表会」では、認知症ケアや在宅での自立支援、経費節減をテーマに5事例の発表があり、「見つめなおして今一度」と題し、パットの使い方をテーマとして経費削減に取り組んだチームチリツモが町の研究発表会に進み一定の評価をいただいた。

職員のキャリアパスの推進については、先に述べた介護職員等処遇加算や資格手当等により環境が整いつつあるが、経験だけでは多様化する介護ニーズへの対応は困難になってきており、施設運営に求められる有資格者の配置基準も維持することが必要で、資格取得に向けた職員個々のスキルの一致が望ましく、介護福祉士等資格取得に向けた厚い支援が求められている。

エ 介護予防事業の実施

西和賀町が事業主体となっている介護予防・日常生活支援総合事業に参加する形で「晴耕塾」として取り組んできたところだが、実施地区は太田地区のみとなっている。背景には、総合事業の選択肢が増えたこともあるが利用者の高齢化と個々の生活スタイルの多様化にあり、地域で集う価値観が希薄化してきていることが大きいと受け止めている。今後の介護予防は、町と連携しながら法人での介護予防運動指導員を養成するなど、利用者ニーズに沿った短時間でも魅力ある予防事業の組み立てが求められている。

オ 地域の社会福祉法人の位置づけとしての情報公表・地域公益活動

情報公開については、ワムネット（独立行政法人福祉医療機構）やホームページからの発信、広報「やすらぎ」の発行に継続して取り組んだ。

車両の貸出は、スポ少の大会出場や練習試合等で活用されている。

夏祭りは晴天に恵まれ、家族会、地域住民、ボランティアの参加の下で、関係事業者からの御寄附をいただきながら盛大に開催することができた。

公益活動の展開については、人材不足の折、法人単独でも展開は限られていることから地域内の法人連携による取り組みが広く住民に支持されるものにとらえており、地域協議体の設置が求められている。

4 資産(土地・建物)等の状況

区 分	所在地	地目、構造及び用途	面 積		
			定 款 m ²	登記簿m ²	
基本財産 (1)土地 (2)建物	和賀郡西和賀町沢内 字太田2地割135番地、 23番地、49番地2、109 番地5、112番地5、113 番地4、130番地、131 番地、132番地、133番 地、134番地、136番地、 142番地、143番地、180 番地、181番地、184番	鉄筋コンクリート 造陸屋根平家建 鉄骨造亜鉛メッキ 剛板ぶき 2階建		3,298.99 1階 194.40 2階 48.60	平成9年10月14日 平成10年12月17 日

	地、186番地、189番地、190番地 和賀郡西和賀町沢内字大野17地割140番地1	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建		821.48	平成6年3月14日
借地等 (1)土地	和賀郡西和賀町沢内字太田2地割 23番、31番3、33番1、49番2、54番4、55番3、55番4、108番5、109番5、110番19、112番5、113番4、120番2、121番1、122番3、122番8、124番、128番、129番1、129番2、130番、131番、132番、133番、134番、135番、136番、137番、142番、143番 和賀郡西和賀町沢内字大野17地割140番1	宅地、雑種地、畑 老人福祉施設の敷地として使用 山林 老人福祉施設の敷地として使用			契約書 有 相手方 西和賀町 借地料 無料 契約書 有 相手方 西和賀町 借地料 無料
(2)建物					

5 役員等の状況

役職名	氏名	職業	理事要件	各理事と親族等特殊関係にある者の有無	現任期
理事長	高橋一雄	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	令和元年6月17日～令和2年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで
理事	真壁信男	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	
理事	近藤英三	会社役員	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	
理事	佐々木正裕	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	
理事	平川縫子	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	

理事	佐々木一	施設長	施設の管理者	無	
監事	高橋義雄	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	
監事	小川賢一	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	
監事	高橋健司	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	

6 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数 ／総数	議 題	監事出席 の有無
平成31年 4月23日	6 / 6	社会福祉法人やすらぎ会理事・監事候補者の選任について 平成29年度社会福祉法人やすらぎ会収入支出決算の承認を求めることについて 平成30年度社会福祉法人やすらぎ会定時評議員会の日程について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和元年 5月28日	6 / 6	平成30年度社会福祉法人やすらぎ会事業報告の承認を求めることについて 平成30年度社会福祉法人やすらぎ会収入支出決算の承認を求めることについて 令和元年度社会福祉法人やすらぎ会定時評議委員会の日程等について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和元年 6月17日	6 / 6	社会福祉法人やすらぎ会理事長の選定について 特別養護老人ホームぶなの園施設長の選任について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和元年 7月23日	5 / 6	特別養護老人ホームぶなの園施設長の解任について 特別養護老人ホームぶなの園施設長の選任について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和元年 9月25日	5 / 6	社会福祉法人やすらぎ会定款の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会経理規定の一部改正について 令和元年度社会福祉法人やすらぎ会第一次補正予算案について 特別養護老人ホームぶなの園送迎福祉車両売買契約について かたくりの園特殊入浴入替事業売買契約について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和元年 12月24日	6 / 6	令和元年度社会福祉法人やすらぎ会第二次補正予算案について 社会福祉法人やすらぎ会役員等報酬規程の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会給与規定の一部改正について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司

		社会福祉法人やすらぎ会就業規則の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会業務組織規則の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会慶弔等規定の一部改正について 指定介護老人福祉施設ぶなの園運営規定の一部改正について 指定短期入所生活介護事業所「ぶなの園」運営規定の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会特別養護老人ホームぶなの園管理規定の廃止について 沢内村老人デイサービスセンター管理規定の廃止について	
令和元年 3月24日	6 / 6	令和元年度社会福祉法人やすらぎ会第三次補正予算案について 社会福祉法人やすらぎ会就業規則の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会給与規定の一部改正について 令和2年度社会福祉法人やすらぎ会事業計画（案）について 令和2年度社会福祉法人やすらぎ会収支予算（案）について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司

7 評議員の状況

氏名	職業 会社名	他の社会福祉法人との兼務状況	現任期
坂巻潤子	障がい者施設役員	有	平成29年4月1日～平成32年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで
小林厚志	無職	無	
和泉 昭	無職	有	
深澤久子	無職	無	
岩井貞一	無職	有	
野中孝勇	無職	無	
石井弘光	森林組合組合長	無	

8 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数 ／総数	議 題	監事出席の有無
令和元年 6月17日	7 / 7	社会福祉法人やすらぎ会理事及び監事の選任について 平成30年度社会福祉法人やすらぎ会事業報告の承認を 求めることについて 平成30年度社会福祉法人やすらぎ会収入支出決算の承認を 求めることについて	小川賢一

令和元年 10月15日	5 / 7	社会福祉法人やすらぎ会定款の一部を改正する定款について 役員報酬について	
----------------	-------	---	--

9 監事監査の実施状況

監査年月日・時間	監査実施者名	監査結果の内容及び指示・指摘事項	改善事項
令和元年 5月21日 9:30～ 15:00	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	30年度は多くの施設整備事業や修繕事業、そして20周年記念事業があり収入は増えているが約800万円の赤字。これが単年度の現象なのか5年後10年後を見込んだ財政計画を掲げて経営していく必要がある。	
		普通預金の額が大きくなってきている。定期預金にするよう指導していたが、利率も悪く危険回避のことも考えると今のままでも良いだろう。	
		職員の残業について、健康保持の観点からも監査の都度指導してきた経緯がある。しかし、残業しても届出をしない職員がいる事がもっと問題である。上司はその事を把握し、必要な時間外を申請するように働きかけることが大事である。	
		今年度の役員改選により、施設長が変わる事にあるが利用者や職員のためにもスムーズなバトンタッチが出来るようにしてほしい。	
令和元年 7月31日 9:30～ 13:30	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	特養へ資格要件を満たす施設長の配置に伴い、新たに配置する総括施設長に係る定款及び内部規定等の整備を進める事。	
		収益全体で前年度対比350万円の増となっており、各事業所の増収の要因は何か。各事業所の取り組みが功を奏している。引き続き経営の安定化に取り組んでいただきたい。	各事業所との利用者確保に向けた目標値を掲げ収益増に取り組んでいる。特養では入院による減収を最小限に、通所では定員の利用受入計画を作成している。
		前年対比で光熱水費の電気料が軒並み下がっているがLED化による効果なのか。今後も経費削減に取り組んでいただ	LED化の影響が大きいだが、電気の自由化により購入先を変更するなど対応している。

		きたい。	
		消費税増税に伴う介護報酬の改定について、職員の給与等今後の見通しはどうか。	10月から介護職員の更なる処遇改善の加算が新設される。支給要件を検討し、経験や資格に応じた分配を実施したい。
令和元年 10月30日 9:30～ 12:00	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	法人全体で第二四半期においても増収となっている。経営に係る収益増の要因は何か。 各事業所での取り組みが結果として表れている。今後も継続してください。	事業所毎の利用状況を見ても、前年対比で増となっている。特養でも利用率が高くなっていることや平均介護度が高くなっていることも増収の要因。通所においては日々欠席を月次計画で捉え柔軟な受け入れを行った結果。
		住民の健康を守るため嘱託医との関係づくりはどうか、意思疎通や職員との信頼関係を築くために意見交換の場をつくる計画はされているか。 予算措置が無ければ補正するなど医療側との信頼関係づくり努力すべき。	医務看護師や介護職との関係づくりとして配慮は必要だと考える。12月の補正にて対応したい。
		介護サービスにおける課題はないか	介護事故・ヒヤリはつとは頻繁に報告が上げられている。各種委員会に置いて再発防止の検討を重ねているが周知が不十分などにより同じエラーが続く傾向にある。介護行為の手順書の整備など利用者に寄り添える具体的目標を提示する予定。
		外国人実習生の受入について進捗はどうか。他事業所との連携など交流の機会を設け受入の体制づくりをしてはどうか。	モンゴルからの実習生受入について進めている。初期費用の発生や受け入れ側の指導体制の確保など課題も多い。町内受入事業所と実習体制や報酬などの処遇に格差が出ないように連携を確保したい。
		最低賃金にかかる職員の処遇改善についてはどうか	最低賃金の改定を踏まえ職員の給与表や手当の見直しなどについても12月理事会に提案したい。

令和元年 1月29日 9:30～ 12:00	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	経営状況について詳しい説明を求め る。	各事業所の利用状況は依然と して高い水準で推移している。 介護度の重症化もあり報酬に 反映されている。10月からの新 たな特定処遇改善加算も上乘 せになっており増収となって いる。
		外国人実習生の受入に係る住宅の確 保についてはどうなっているのか。	法人として候補地所有者と交 渉を継続している。農地法との 関連もあり売買には時間がか かる。その他の物件についても 所有者と折衝してみる。
		かたくり拠点において収支がマイナ スとなった原因について説明を求め る。 資金管理において確認が不十分と思 われる。今後十分に注意するよう に。	町からの委託事業の委託費の 支払いが遅れ、資金管理として の落ち度もあり発生した。年度 末を控えており精査していきます。
		給食業務の直営化に向けた進捗状況 について。 利用者の食の安全確保の観点から重 要な課題。不具合の無いように対 応したい。	人材不足により委託業者より 食事提供内容の簡素化の提案 を受けたが受け入れがたく、や むなく自営化を検討すること となった。人員の確保に全力を 尽くす。

10 一般の寄付の状況

区 分	本部経理区分受入		ぶなの園経理区分受入		かたくりの園経理区分受入	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
(うち取引業者) 業 者						
利 用 者						
利用者の家族	1	30,000	1	30,000		
そ の 他	2	30,000	1	10,000		
計	3	60,000	2	40,000		

11 高額物品の購入状況

物 品 名 ぶなの園受水槽FRPライニング工事 1式
 入札方法 指名入札 指名業者数 1社
 完 成 令和元年11月6日

物 品 名 かたくりの園特殊入浴入替事業 一式
 入札方法 指名競争入札 指名業者数 3社
 納 品 令和元年11月12日

物 品 名 ぶなの園送迎用福祉車両購入 1台
入札方法 指名競争入札 指名業者数 3社
納 品 令和元年11月28日

第2章 総務課

1 事業の総括

- (1) 法人窓口として接客対応等意識を高めながら業務に臨んだ、自らの業務効率の向上を目指すことで各部署の業務の効率化を図ることを年度目標としながら取り組んできたが、行政対応の複雑化や業務の煩雑化により、各部署への十分な働きかけが出来ず、業務への支障が出るなど反省すべき内容が多かった。
- (2) 安定した経営を維持するため、予算に基づいた執行を心掛けた。緊急の対応の場合においても収支状況を確認しながら対応にあたったが、老朽化に伴う修繕等の場合、補正を伴うケースもあり対応に苦慮した。
- (3) 職員が働きやすい環境を整え業務に支障が出ないようにサポートすることを目標としていたが、業者との連絡調整が上手くいかず度々現場に迷惑をかけてしまい申し訳なかった。

2 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート職員	計
施設長	1			1
事務員	2	1	1	4

3 重点目標

- (1) 予算を意識し備品等の購入について複数の業者からの見積りや値引きの交渉など少しでも経費の削減になるように努めた。各事業所の消耗品の消費状況についてチェックしながら行っていたが、事例研究においてコストを意識させるテーマの研究のおかげで、職員自らもコストを意識した消費状況が見られるなど効果が表れてきていると思う。

将来に向けての省エネルギー対策等については、様々な案内はいただくもこれまで以上の効果が期待できる物にはたどり着くことが出来なかった。

- (2) 前年度の反省から早めの研修申込を心掛けて対応にあたったが、予定していた研修に参加できない職員もあり、更なる工夫が必要だと感じた。また、職員育成の一環として自発的な研修参加を促す受講案内を配布しているが、なかなか受講には至らなかった。

資格取得に向けた取り組みとして、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得に向けたサポートを心掛けたが、実際には受験者が少ないなど、具体的な取り組みを検討する必要がある。

- (3) ぶなの園車両整備、かたくりの園特殊浴槽の入替工事等については、計画通りに実施することが出来た。しかし、ぶなの園の居室内の水道整備の修繕事業については、一部の実施に留まってしまい、住民の方々にご迷惑をおかけする場面も見られたので、次年度においても引き続き事業の実施を検討していきたい。

今後の整備事業について、資金計画の策定や建物修繕及び備品の購入入替計画の作成など第4次中長期計画に沿った内容にて次年度内に実施したい。

4 年間施設管理計画の実施状況

- 4月12日 電気設備保守点検
- 4月15日 タイヤ交換作業
- 4月23日 機械設備保守点検 濾過器

5月8日 機械設備保守点検 配管洗浄・水質検査
5月14日 業務用洗濯機及び乾燥機保守点検
5月15日 電気設備保守点検
5月18日 個浴蛇口修理
5月24日 フェンス取付作業、雪囲い撤去作業
6月4日 厨房食器消毒保管庫設置完了
6月10日 厨房電気配線修理
6月13日 電気設備保守点検
6月24日 機械設備保守点検 地下タンク清掃
6月28日 食堂ワックスがけ害虫駆除作業
7月12日 業務用食器洗浄機及び電気ブースター保守点検
7月2日 機械設備保守点検 貯水槽清掃・真空ヒーター
7月3日 機械設備保守点検 空調設備
7月4日 消防設備保守点検
7月5日 敷地内整備 草刈り
7月6日 機械設備保守点検 ばい煙測定
7月10日 コール対応PHS納品完了
7月10日 電気設備保守点検
7月29日 消防設備危険物立入検査
7月30日 厨房・洗濯場プロパンガス点検
7月31日 ガス配管修理
8月7日 電気設備保守点検
8月20日 業務用冷凍冷蔵庫関係保守点検
8月24日 トイレ2蛇口・居室洗面台配管修理
8月28日 浴室清掃委託作業
9月11日～13日 パソコン入替作業
9月12日 電気設備保守点検
10月7日 電気設備保守点検
10月22日 自動制御機器修繕
10月23日 受水槽FRPライニング工事開始
10月24日 機械設備保守点検 濾過器
10月29日 消防設備不具合点検
11月6日 受水槽FRPライニング工事完了
11月3日 かたくりの園特浴設置工事開始
11月12日 タイヤ交換作業
11月12日 かたくりの園特浴設置完了
11月13日 フェンス取付作業、雪囲い設置作業、屋上清掃
11月22日 電気設備保守点検
11月22日 食堂ワックスがけ害虫駆除作業
11月28日 ぶなの園福祉車両納品完了検査
12月13日 電気設備保守点検

- 1月9日 業務用冷凍冷蔵庫関係保守点検
- 1月15日 汚物洗濯機修理
- 1月16日 消防設備保守点検
- 1月21日 電気設備保守点検
- 1月23日 車両任意保険更新
- 2月4日 機械設備保守点検 ばい煙測定
- 2月5日 業務用食器洗浄機及び電気ブースター保守点検
- 2月12日 電気設備保守点検
- 2月21日 消防署立入検査
- 3月13日 電気設備保守点検

5 職員研修の状況

開催日	研修内容	主催者	開催地	開催期間	参加者
4/15	有償運送運転者講習	ワイ・デー・シー(株)	横手自動車学校	1日	典子
4/17	北上地区ケアマネージャー連絡協議会	北上ケアマネ連絡会	敬愛園	1時間	丹波
4/25	認定調査員新規研修	岩手県保健福祉部	盛岡市勤労福祉会館	1日	愛子
5/16	人事考課研修	社会福祉事業団	アイーナ	1日	内記香苗
5/16～17	東北ブロック老人福祉施設大会	県社協	TKPガーデンシティ仙台	2日	大澤正広
5/21	介護保険サービス提供事業所に係る集団指導会	県南振興局	花巻市総合福祉センター	半日	正広直子
5/23	リスクマネジメント研修【基礎編】	社会福祉事業団	アイーナ	1日	知英子
5/24	介護保険サービス提供事業所に係る集団指導会	県南振興局	奥州保健所	半日	丹波
6/18	西和賀町社会福祉協議会定時評議員会	町社協	西和賀町役場沢内庁舎	半日	大澤
6/19	虐待防止研修【応用編】	社会福祉事業団	アイーナ	1日	紀子
6/24	内部学習会（身体拘束廃止に向けて）	特養ぶな	地域交流の場	90分	特養14名
7/2～4・9・10・22～24 12/9～12	介護職員等医療的ケア研修（第二号）	県社協	アイーナ	12日	川村
7/3	花巻・北上地区高卒求人情報交換会	北上安定所	ホテルシティプラザ北上	半日	篤
7/3～4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【管理職員編】	社会福祉事業団	アイーナ	2日	宏明

7/11	介護職員等特定処遇改善加算等に係る説明会	岩手県保健福祉部	奥州市文化会館Zホール	半日	篤
7/12	内部学習会（帰宅願望について）	デイぶな	デイスペース	1時間	デイ6名
7/12	内部学習会（感染症学習会）	特養ぶな	地域交流の場	30分	特養16名
7/17	社会福祉法人経営セミナー【前期】	県社協	アートホテル盛岡	半日	理事長1
7/24	県南ブロック高齢者福祉協議会第1回研修委員会	県南ブロック高齢協	さくらの郷	半日	真美
7/29~30	リスクマネジメント研修【実践編】	社会福祉事業団	アイーナ	2日	石大夏堀
7/31	岩手県介護ロボット導入研修会	いきいき岩手支援財団	マリオス	半日	大澤
8/1	サービス事業所情報交換会	包括支援センター	さわうち病院	90分	浩子栄子
8/8	安全運転管理者等講習会	岩手県公安協会	さくらホール	1日	宏明
8/19	岩手県高齢者福祉研究会	県社協	ホテルメトロポリタン盛岡	1日	伊藤渡邊
8/29	内部学習会(介護事故防止)	特養ぶな	地域交流の場	1時間	特養16名
8/26	内部学習会(身体拘束廃止②)	特養ぶな	地域交流の場	90分	特養18名
8/31	自立支援型ケアマネジメント研修会	包括支援センター	さわうち病院	半日	宏明 世理子 伊藤
9/2~6 10/11	岩手県認知症介護実践者研修	いきいき岩手支援財団	盛岡市勤労福祉会館	6日	常世
9/5~6	東北ブロック老人福祉施設研究会	県社協	江陽グランドホテル	2日	石大
9/5~7 11/13~14	介護職員等医療的ケア研修指導者養成講習	県社協	ふれあいランド岩手アイーナ	5日	夏堀
9/9~10	相談支援研修	岩手県立大学	アイーナ	2日	真希瞳
9/19	呼吸リハビリテーション研修会	いわてリハビリテーションセンター	いわてリハビリテーションセンター	1日	黒淵
9/24	感染症及び食中毒予防対策研修会	いわての保健福祉支援研究会	アイーナ	1日	典子
9/27	西和賀町健康づくり推進協議会	西和賀町	西和賀町沢内庁舎	90分	真美
9/27	内部学習会(ターミナル)	特養ぶな	地域交流の場	1時間	特養13名

10/1	内部学習会(口腔衛生)・研修 報告会	特養ぶな	特養ぶな 1・2丁目食堂	1時間	特養 16名
10/7~8	社会福祉コーチング研修	岩手県立大 学	アイーナ	2日	篤
10/7~9 12/3~4	岩手県介護支援専門員専門研 修課程Ⅱ・更新研修	いきいき岩 手支援財団	サンビル	5日	近藤
10/8	OJT研修～職場で取り組む 人材育成～	社会福祉事 業団	アイーナ	1日	世理子
10/10	指定障害福祉サービス事業者 等集団指導講習会	県南振興局	花巻市総合福 祉センター	半日	伊藤
10/16	地域リハビリテーション関係 職員研修会	いわてリハビ リテーションセンター	いわてリハビレ ーションセンター	1日	蛭坂
10/18	CVポートの管理勉強会	西和賀さわ うち病院	さわうち病院	90分	菜穂子 夏堀
10/21	メンタルヘルス研修会【管理 者編】	社会福祉事 業団	アイーナ	1日	正広
10/23	健康出前講座【超高齢社会を みすえた糖尿病予防事業】	岩手県栄養 士会	川尻保健セン ター	半日	真美
10/28~30 12/18~19	岩手県介護支援専門員専門研 修課程Ⅱ・更新研修	いきいき岩 手支援財団	サンビル	5日	宏明 丹波
11/1	感染症学習会(施設における 感染症対策)	特養ぶな	地域交流の場	1時間	特養 23名
11/7	健康講話(生活習慣病が生活 にどう影響するか、生活習慣)	やすらぎ会	地域交流の場	70分	法人 22名
11/13	口腔ケア従事者研修会	中部保健所	花巻保健セン ター	半日	黒渕
11/13	在宅福祉課研修報告会	在宅福祉課	デイスペース	75分	在宅 12名
11/13~14	福祉職員キャリアパス対応生 涯研修課程【初任者編】	社会福祉事 業団	アイーナ	2日	彩香
11/14	有償運送運転者講習	紫波中央自 動車学校	紫波中央自動 車学校	1日	知英子 栄子
11/21	介護保険サービス事業者等に 係る集団指導会	西和賀町	西和賀町 沢内庁舎	90分	涉 真希 伊藤
12/3	安全運転管理者等講習会	岩手県公安 員会	さくらホール	1日	正広
12/5~6	東北ブロックカントリーミー ティングin秋田	全老福祉施 設協議会	秋田キャッス ルホテル	2日	涉 浩子 美代子
12/6	内部学習会(シーティング基 礎編)	特養ぶな	地域交流の場	90分	特養 11名

12/10	心肺蘇生法 救急救命講習会	防火管理委員会	地域交流の場	90分	法人 17名
12/12	社会福祉法人経営セミナー【後期】	県社協 経営者	アートホテル盛岡	半日	理事長 義雄一
12/12	介護支援専門員実務研修実習指導者向け研修会	岩手県 保健福祉部	岩手県水産会館	半日	宏明
12/16	適性診断初任診断	自動車事故 対策機構	北上自動車学校	半日	伊藤 典子
12/17	介護職種の技能実習指導員講習会	岩手県介護 福祉士会	ふれあいランド岩手	1日	内記
12/18	岩手県地域包括ケア研修会	いきいき岩 手支援財団	奥州市 江刺総合支所	1日	瞳
1/16	県南ブロック高齢者福祉協議会施設防災担当者会議	県南ブロッ ク高齢協	江刺総合コ ミュニティ センター	半日	篤 正広
1/18	県南ブロック高齢者福祉協議会職員研修会	県南ブロッ ク高齢協	水沢地区セ ンター	半日	為田 恵
1/21	内部学習会(研修報告会)	特養ぶな	地域交流の場	30分	特養 10名
1/23	介護実習指導研修(新カリキュラム対応)	県介護福祉 士会	ふれあいランド岩手	1日	真希
1/24	県南ブロック協議会職員研修会	県社協	花巻市文化会館	半日	篤
1/24	内部学習会「口腔内、鼻腔内吸引の基礎手順」実技学習	特養ぶな	対象住民居室	30分	特養 16名
1/24	達者の里構成施設等研究会	包括支援セ ンター	奥州市健康増進プラザ	3時間	瞳
1/27	パワハラ対策等法律説明会	岩手県労働局	さくらホール	半日	篤
1/28	中長期計画策定セミナー	県社協 経営協	ふれあいランド岩手	1日	一 近藤 真希
1/28	内部学習会(「口腔内、鼻腔内吸引の基本的手順」実技学習)	特養ぶな	対象住民居室	30分	特養 10名
2/7	地域福祉推進トップセミナー	県社協 経営協	ホテルニューカリーナ	1日	理事長 正裕一
2/25	県南ブロック高齢者福祉協議会総会	県南ブロッ ク高齢協	江刺総合コ ミュニティ センター	半日	一
3/3	社会福祉法人経営者協議会総会・管理者セミナー	県社協 経営協	ふれあいランド岩手	半日	理事長 一
3/30	全職員会議	やすらぎ会	地域交流の場	2時間	法人 52名

※社会福祉事業団(岩手県社会福祉事業団)、県社協(岩手県社会福祉協議会)、経営協(社会福祉法人経営者協議会)
 北上ケアマネ連絡会(北上地区ケアマネジャー連絡協議会)、県介護支援専門員協会(岩手県介護支援専門員協会)
 包括支援センター(西和賀町地域包括支援センター)、県南ブロック経営協(県南ブロック社会福祉法人経営者協議会)
 いわてリハビリセンター(いわてリハビリテーションセンター)

6 会議の状況

(1) 課長会議

開催日	議 題
4/1	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度2月実績による収支状況及び経営状況について 平成31年度人事考課について 第4次中長期計画策定会議スケジュールについて
4/26	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度3月実績による収支状況及び経営状況について
5/15	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告について 特養介護職員の不足について
6/3	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月実績による収支状況及び経営状況について 特養介護職員不足に伴う求人活動について 働き方改革に伴う有給休暇の取得について
7/1	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年5月実績による収支状況及び経営状況について 特養人材不足に係る求人状況について 特養ぶなの園、ショート、ヘルパー実地指導対応について 法人監査について
8/1	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年6月実績による収支状況及び経営状況について 第1四半期実績による収支状況及び経営状況について 法人組織体制について
9/2	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年7月実績による収支状況及び経営状況について 介護職員等特定処遇改善加算の算定について 令和2年度職員採用及び法人組織体制について 事例研究発表について 第4次中長期計画策定準備について
10/1	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年8月実績による収支状況及び経営状況について 令和元年事業計画上期進捗状況について 第4次中長期計画策定準備について 令和2年度法人組織体制について 厨房調理業務自営化について
11/1	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年9月実績による収支状況及び経営状況について 第2四半期実績による収支状況及び経営状況について 第2四半期内部監査について 令和元年度事業計画の進捗状況について 第4次中長期計画策定準備について 厨房調理業務自営化について 主任会議からの提案について
11/28	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度法人組織体制について
12/2	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月実績による収支状況及び経営状況について 第4次中長期計画の策定の準備について 令和2年度法人組織体制について 給食業務検討委員会について 給与規定の見直しについて
12/20	<ul style="list-style-type: none"> 理事会議案について

1/6	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月実績による収支状況及び経営状況について ・令和2年度運営方針について ・予算編成の方向性について
2/3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月実績による収支状況及び経営状況について ・第3四半期の収支状況及び経営状況について（内部監査報告） ・令和2年度経営方針・経営方針について ・予算編成について
3/2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度1月実績による収支状況及び経営状況について ・令和2年度事業計画について ・令和2年度採用計画について ・厨房調理業務内製化について ・人事内示について
3/16	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業計画について ・やすらぎ会規則の改正について（内部監査報告）

(2) 総務課会議

開催日	議 題
4/2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告（総括依頼）について ・平成31年度実施事業の確認について ・平成31年度業務分掌について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算について
6/4	<ul style="list-style-type: none"> ・定時評議員会・理事会について ・平成30年度事業報告について
7/2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・求人対応について ・実地指導について ・夏祭りについて
9/3	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究発表について ・パソコン入れ替えについて ・総務課業務分掌について
10/4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員採用について ・事業計画上期進捗状況について ・厨房調理業務について ・文化祭について ・事例研究発表について
11/5	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の反省について ・第3次中長期計画評価について ・厨房調理業務について ・職員の採用・登用について
12/3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の下期対応について ・職員採用に伴う総務の対応について
1/7	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に向けてのタイムテーブルについて ・予算作成の準備について
2/4	<ul style="list-style-type: none"> ・予算作成の準備について ・総務課重点目標について ・総務課運営内容について
3/5	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度総務課重点目標について ・令和2年度総務課業務分掌について ・令和2年度担当委員について

(3) 感染症対策委員会

開催日	議 題
6/25	<ul style="list-style-type: none"> ・感染性胃腸炎ロールプレイについて ・食中毒の学習会について ・在宅応援受け入れマニュアルについて
8/26	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対応について ・食中毒に関わる学習会の反省について
10/18	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種について ・感染症学習会の実施について ・感染性胃腸炎対応等のロールプレイについて
11/25	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症学習会について ・インフルエンザ予防接種実施状況について

	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防（エアーマスクの支給）について ・感染症が発生した場合の対応（予防タミフル処方）について
12/25	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内インフルエンザ感染状況について ・インフルエンザ予防接種実施状況について ・年末年始の感染対応について
2/25	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対応について

7 職員の定期健康診断の実施状況

期 日	実施人員	実施職種	検査項目	検査結果	検査機関
5/5 6/24	79人	全職種	体重・視力・血圧 尿・血液・体脂肪 聴力・心電図 胸部X線	A判定 13名 B判定 36名 C判定 30名	予防医学協会
12/9	16人	夜勤者	体重・視力・血圧 尿・血液・体脂肪 聴力	A判定 3名 B判定 9名 C判定 5名	予防医学協会

8 ストレスチェック

職員のメンタルヘルス不調を未然に防止することを目的として実施する。

実施者は産業医とし、実施事務従事者を総務課職員が務める。

- (1) ストレス調査、結果分析 9月～10月 53名実施
- (2) 職員への通知、面接指導奨励 11月
- (3) 労働基準監督署への報告 12月

9 感染症対策

インフルエンザ予防接種 令和元年11月～令和2年1月 80名実施

10 全体行事の実施状況

開催日	全体行事名	参加者			
		家族	地域住民	ボランティア	その他
7月27日	第21回夏まつり	34	225	135	57
10月25日	第18回文化祭	15	49		56

第3章 施設福祉課

○特別養護老人ホームぶなの園（指定介護老人福祉施設）定員52名

○ショートステイぶなの園（指定短期入所生活介護）定員8名

ショートステイぶなの園（指定介護予防短期入所生活介護）含む

1 事業の総括

特別養護老人ホームの稼働率が97.18%で、利用目標に対しての達成率は99.87%と、概ね達成できた。入退所が4名と少なかったことにより入退所のロスも最小限に抑え、早期発見早期診察を徹底することで入院が長期化するのを防ぐことができたのではないと思われる。入所者に対しても接遇の強化を図り、入所者の尊厳を守ることを念頭において対応することができた。

2 重点目標

(1) 利用者本位の良質なサービス提供

ア 接遇について、上半期では職員会議で検討することを掲げて実施してきたが、検討材料を提供する方法として、事例を挙げて意見を伺うという方法では、職員一人一人が十分に意識した上で積極的に取り組んだとは言えなかったと思われる。下半期はグループワーク形式に変更したことで、意見が多くなり、職員の意識付けができた。

イ 感染対策について上半期で食中毒による感染対策学習会を開催できたことは評価できた。また、感染対策マニュアルの見直しを行い、下半期に感染対策学習会を実施し、マニュアルの解説を行い、ロールプレイを行うことができた事で職員への周知も進んだ。

ウ 口腔ケアについて、取り組み事態は、以前から行われていた。今年度から、訪問歯科の主担当を看護職員が行うことで、歯科医師から指導を受け、介護職員へ指導を行った。個別に磨き残しの対応方法などの指導を受けることは重要なため、その場合は看護職員と一緒に介護職員も指導を受け、技術もそうだが注意する点などを学ぶことができた。

(2) 安定した経営と運営に向けて

ア 利用率は、一年を通して亡くなる入所者が4名と少なく、入退所のロスもなかった。また、ショートステイの利用者も前年度より多く受けることができていたため、目標を達成することができた。

イ コスト削減をより具体的に見える化するために、委員会を立ち上げ総務課から協力を得て検討を重ね、職員会議でも毎回検討内容の報告をした。当初、個別対応の統一が、なかなか浸透しなかったが、徐々にその必要性が理解されてきた。事例研究発表会でも取り上げられるなど関心は高いと思われる。また、オムツ削減検討委員は予算と支出を把握することができた事は何よりも収穫だった。

ウ 日々の業務から、無駄の洗い出しを行うのは、なかなか難しいことであり、気が付かないものだ。しかし、いろいろな意見を集めることで、必要なことが見えてくるのではないかと考えさせられた重点目標だ。

(3) 人材育成と働きやすい職場づくり

ア 働き方改革により定時で帰ることを目標としたが、人材不足が深刻なため積極的に進めることができなかった。その為、さまざまなリスクを背負って業務を行うこととなった。

イ 内部学習会は充実しているが、今後は内容を重視していくことに目を向ける必要がある。
外部研修は生涯計画され充実しているが、復命書の所感で、研修を受けてきたことを、この事業所にどのように如何に反映していくか考えることで、研修が活き、資質向上につながる。

ウ 介護ロボット等の導入に向けての準備はできていないように思われる。当初、腰痛対策として取り組んできた経緯があるため、そのことに固執することで、進まなくなる可能性があったが、職員の不安解消や密室での事故等の対応など、広い視野で検討する必要があった。

3 職員の状況

(令和2年3月31日現在)

		施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	介護支援専門員	栄養士	調理員	医師	その他	計
年度当初	正規	1	2	1	12	3	1	1	1				22
	臨時		1		9	1							11
	パート				7	1						4	12
年度中	採用		1		2								3
	異動増												
	異動減												
	退職		1		1	1							3
年度末	正規	1	2	1	12	3	1	1	1				22
	臨時		1		9								10
	パート				8	1						4	13

4 入所者利用者の状況

	施設入所者				短期利用者			
	延利用者数	延利用日数	営業日	平均入所者数	延利用者数	延利用日数	営業日	平均利用人数
4月	52	1,536	30		22	204	30	
5月	52	1,549	31		22	257	31	
6月	52	1,541	30		25	242	30	
7月	52	1,553	31		24	243	31	
8月	52	1,563	31		21	215	31	
9月	53	1,519	30		22	193	30	
10月	53	1,577	31		26	208	31	
11月	52	1,517	30		27	224	30	
12月	53	1,559	31		23	223	31	
1月	52	1,560	31		27	237	31	
2月	52	1,424	29		27	235	29	

3月	51	1,546	31		28	225	31	
合計	626	18,444	366	52.1	294	2,706	366	7.4
前年度	619	18,272	365	50.1	224	2,651	365	7.3

5 要介護認定状況

(令和2年3月31日現在)

区分 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均 介護度
男			2	2	7	11	4.45
女			4	16	20	40	4.40
計			6	18	27	51	4.41

6 入退所の状況

	実 人数	入所者数(左の内訳)			新規入所者				退所者					
		町 内	町 外	県 外	在 宅	病 院	他 施設	計	在 宅 復帰	長 期 入院	他 施設	死 亡	計	
4月	52	50	1	1										
5月	52	50	1	1										
6月	52	50	1	1										
7月	52	50	1	1										
8月	52	50	1	1										
9月	53	51	1	1			1	1				1	1	
10月	53	51	1	1	1			1				1	1	
11月	52	50	1	1										
12月	53	51	1	1			1	1				1	1	
1月	52	50	1	1										
2月	52	50	1	1								1	1	
3月	51	49	1	1										
合計	626	602	12	12	1		2	3				4	4	
前年度	624	600	12	12	1		4	5		1		4	5	

7 退所者の状況

性別	年齢	自治体	退所の理由	退所日	利用年数
女性	92歳	西和賀町	死亡	令和元年09月02日	2年5ヶ月
女性	104歳	西和賀町	死亡	令和元年10月10日	2年1ヶ月
女性	93歳	西和賀町	死亡	令和元年12月13日	5年5ヶ月
女性	90歳	西和賀町	死亡	令和2年02月25日	2年1ヶ月

8 年齢構成の状況 (令和2年3月31日現在)

	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	計	最高 年齢	最低 年齢	平均 年齢
男				2	1	8	11	94歳	66歳	83歳
女			1	1	2	36	38	97歳	64歳	88歳
合計			1	3	3	44	51	97歳	66歳	87歳

9 在所期間の状況 (令和2年3月31日現在)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計	平均在所 期間
男		5	1	4	1		11	4年9ヶ月
女	3	8	13	9	5	2	40	5年9ヶ月
合計	3	13	14	13	6	2	51	5年7ヶ月

10 食事の状況 (令和2年3月31日現在)

	自立		一部介助		全部介助			合計
	食堂	居室	食堂	居室	食堂	居室 経管栄養	居室 I V H	
男性	2		4		4	1		11
女性	16		11		5	8		40
合計	18		15		9	9		51

自立：自分で食事ができる

一部介助：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。

全部介助：自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

11 入浴の状況 (令和2年3月31日現在)

	自立	一部介助			全部介助			合計
		一般浴槽	機械浴槽	一人浴槽	一般浴槽	機械浴槽	一人浴槽	
男性		1				1	9	11
女性		4		6	2	6	22	40
合計		5		6	2	7	31	51

自立：自分で入浴でき洗える。

一部介助：自分で入浴できるが、洗うときや浴槽の出入りに介助を要する。

全部介助：自分で全くできないのですべて介助しなければならない。(特浴を利用している等)

12 排泄の状況 (令和2年3月31日現在)

	自立	一部介助			全部介助			合計
		日中のみ	常時	夜間のみ	常時	夜間のみ	バルン	
男性				1	8		2	11
女性	2		9		26		3	40
合計	2		9	1	34		5	51

自立：自分で昼夜とも便所又は簡易便器を使ってできる。

一部介助：介助があれば簡易便器でできる。

全部介助：自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

13 排泄に係る状況 (令和2年3月31日現在)

		対象人員	回数	定 時	随 時
おむつ	常 時	26人	4回	3時、10時、15時、20時	○
トイレ誘導	常 時	18人	6～10回		○
体位交換	褥瘡者	1人	12回	1日平均して夜間は3時間ごと	○
	その他	35人	8回	1日平均して夜間は3時間ごと	○

14 医療行為等の状況 (令和2年3月31日現在)

	胃ろう	吸痰	ターミナル
男性	2名	3名	
女性	8名	6名	1名

15 待機者の状況 (令和2年3月31日現在)

	待機者		
		うち町外	うち県外
男性	11名	0名	0名
女性	34名	4名	0名

16 施設外外来受診状況

通院医療機関名	受診科目	延通院者数
西和賀さわうち病院	歯科	21人
	内科	39人
	外科	10人
	眼科	10人
	整形外科	17人
	循環器	3人
	泌尿器	3人
	定期カテーテル交換 (膀胱/経管)	41人
盛岡市立病院	神経精神科	4人
心のクリニック	神経内科	3人
県立中部病院	皮膚科	1人
花北病院	精神科 (処方箋のみも対象)	22人
むらさきのクリニック	カテーテル交換	1人
岩手医科大学付属病院	呼吸器内科	3人
前田医院	皮膚科	1人
県立中央病院	皮膚科	2人

17 入院の状況

	入院者延べ数	入院延べ日数	主な病名
4月	3人	24日	胃ろう増設・尿路感染症・精神障害
5月	3人	60日	肺炎・皮膚癌
6月	2人	19日	肺炎
7月	5人	58日	肺炎・尿路感染症・腰椎圧迫骨折
8月	4人	48日	肺炎・食欲不振
9月	5人	41日	尿路感染症・総胆管結石
10月	3人	30日	腰痛症・低酸素血症
11月	6人	43日	肺炎・尿路感染症・鼠径ヘルニア
12月	4人	40日	
1月	5人	50日	尿路感染症・精神障害・心不全
2月	8人	80日	尿路感染症・蜂窩織炎・腸管麻痺
3月	5人	35日	尿路感染症・出血性胃潰瘍
合計	53人	496日	
月平均	4.4人	41.3日	

18 食事数の状況

	朝食			昼食				夕食			経管栄養
	入所	短期	職員	入所	短期	デイ	職員	入所	短期	職員	
4月	1,263	180	0	1,264	200	238	545	1,263	186	18	9
5月	1,285	208	0	1,283	227	245	539	1,285	208	16	9
6月	1,263	189	0	1,266	217	232	526	1,270	192	17	9
7月	1,269	187	0	1,272	211	251	570	1,269	189	17	9
8月	1,296	160	0	1,291	178	224	567	1,297	163	20	9
9月	1,226	167	0	1,226	186	216	540	1,225	168	15	9
10月	1,265	179	0	1,265	204	250	488	1,265	182	16	9
11月	1,227	189	0	1,228	219	241	526	1,224	193	17	10
12月	1,273	196	0	1,278	219	231	529	1,279	195	20	10
1月	1,277	205	0	1,277	244	229	550	1,276	210	18	9
2月	1,177	197	0	1,179	225	232	496	1,178	200	16	9
3月	1,280	181	0	1,280	209	240	515	1,281	185	21	9
合計	15,101	2,238	0	15,109	2,519	2,829	6,391	15,082	2,271	211	110
月平均	1,258	187	0	1,259	210	236	533	1,257	189	18	9

19 行事食の状況

実施日	行事食名	献立内容
4/24	お花見定食	桜散らし寿司・若竹汁・天ぷら・葉の花ごまあえ

		さくらゼリー
5/5	子供の日メニュー	中華おこわ風ご飯・吸い物・京風玉子焼き 葉の花とたけのこの酢みそ・フルーツヨーグルト
6/7	さなぶり定食	枝豆の緑茶飯・吸い物・厚焼き玉子・ポテトサラダ フルーツポンチ
7/7	七夕ランチ	七夕散らし寿司・すまし汁・鶏ささ身と胡瓜の梅肉あえ 五指型ゼリー
7/27	土用の丑の日	ごはん・みそ汁・うなぎ入り玉子焼き・マカロニサラダ 漬物
7/27	やすらぎ会夏祭り	{夕食} カレーライス・わかめスープ・オクラ和風サラダ ピーチ
8/13	お盆メニュー	赤飯・吸い物・精進揚げ・心太・漬物
9/16	敬老の日	散らし寿司・吸い物・大根の煮物・果物
9/18	敬老会弁当	赤飯・吸い物・豚肉八幡巻き・天ぷら・茶碗蒸し・煮物 紅白なます・果物
10/14	体育の日のメニュー	豆ご飯・豚汁・厚焼き玉子・果物・ポテトサラダ
10/29	手打ちそばの日	手打ちそば・栗ご飯・天ぷら・プリン
11/20	握り寿司の日	握り寿司・吸い物・水ようかん
12/25	クリスマス忘年会弁当	舞茸ご飯・吸い物・鶏照り焼き・天ぷら・煮物 春菊ごまあえ・漬物・レアチーズケーキ
12/31	年越しメニュー	{夕食} 年越しそば・かっぱ巻き・赤魚煮つけ かぼちゃそぼろ煮・漬物
1/1	おせち	赤飯・雑煮・タラ照り焼き・煮しめ・伊達巻玉子 紅白なます・盛り合わせ
1/7	七草粥	{朝食} 七草粥・味噌汁・野菜ソテー・ブロッコリー浸し 漬物
2/3	節分の日	恵方巻・鯛のつみれ汁・かぼちゃの炊き合わせ・プリン
3/3	お雛様メニュー	鮭散らし寿司・吸い物・菜の花のじゃこ和え ミックスゼリー

20 行事の状況

実施日	名称	実施内容
4/24～30	花見ドライブ	外気に触れ、景色を見ることで沢内の春の訪れを感じることができた。
6/12	畑作り	野菜の苗を育て、収穫の楽しみ味わう事ができた。
6/7	さなぶり祭り	保育所の子供達の田植え踊りを見学し交流もできた。
7/1～8	あやめドライブ	季節の変わり目を感じることができた。
7/5	七夕交流会	保育所の子供達とのふれあいを楽しむことができた。
8/19	ビアパーティー	夏の特別な雰囲気を感じて美味しい物を頂く事ができた。
9/18	敬老会	式典により長寿を祝い記念品を贈呈した。祝賀会では民謡保

		存会や保育所の子供たちの遊戯により楽しく過ごすことができた。
9/23～10/7	紅葉ドライブ	稲刈りの風景や色づいてきた葉を見て気分転換ができた。
11/19 11/26	紙芝居を楽しむ会	昔紙芝居屋さんが来たときのワクワク感を楽しむことができた。
12/18	映画鑑賞会	非日常的な空間で映画を楽しんでもらうことができた。
12/25	クリスマス忘年会	ボランティアの方々と一緒にアトラクションなどを楽しむことができた。
1/4	新年交賀会	利用者にとって一年が良い年であるように願いながら、親睦を深めることができた。
1/15	小正月	感染対応等により活動が遅れてしまいましたが、ほっぴきで小正月気分を味わい楽しむ事ができた。
3/24～28	みかん風呂	良い香りに包まれて、普段と違うお風呂を楽しむ事ができた。
2/3	節分	豆まきをとおして一年間の無病息災を願うことができた。
3/3	ひな祭り	雛人形七段飾りと写真を撮って楽しむことができました。
3/24～28	ワイン風呂	ワインを入れて楽しく入浴することができた。

21 ボランティアの状況

団体名	登録人員	1回当たりの平均参加人員	事業のかかわり方
西和賀町婦人連絡協議会	135人	3人	ホーム喫茶手伝い 夏祭りの踊りに参加 住民の健康を祝う集いに参加 クリスマス忘年会に参加
理容ボランティア	3人	2人	整髪
川舟保育所		20人	さなぶり祭りに参加
梅檀保育所		20人	七夕まつり、クリスマス忘年会に参加
新町保育所		20人	住民の健康を祝う集いに参加
民謡保存会		4人	住民の健康を祝う集いに参加
西和賀高校		4人	車椅子清掃
沢内中学校		44人	雪あかり雪像作り
太田地区婦人会		9人	施設前の草取り
岩手県看護協会北上支部		4人	ハンドマッサージ、ネイルケア
趣味の会		4人	クリスマス忘年会に参加
ぶなの園家族会	52人	20人	花植え、建物周辺除草作業、窓ふき、車いす清掃、居室清掃等の環境整備

22 会議等の状況

(1) リーダー会議

開催日	議 題
4/2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・働き方改革について ・全職員会議について ・勤務表作成基準の明確化について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折事故について ・勤務表作成基準について ・一日のスケジュール管理について ・事故対応マニュアルについて ・働き方改革について

(2) 職員会議

開催日	議 題
4/9	・ 事業方針及び重点目標・組織体制・業務分掌・委員会及び担当・研修計画 ・ 人事考課計画・高額物品等購入計画・住民担当・クラブ活動計画
5/14	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
6/11	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
7/9	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
8/6	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
9/9	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
10/10	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
11/11	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
12/10	・ 介護事故分析について ・ 経費削減について
1/14	・ 介護事故分析について
2/10	・ 介護事故分析について ・ 業務改善について
3/10	・ 介護事故分析について ・ ショート基本業務について

(3) 入所検討委員会

開催日	外部参加	議 題
6/12	1名	・ 入所待機上位者の検討
11/26	1名	・ 入所待機上位者の検討

(4) 第三者評価委員会

開催日	外部参加	議 題
4/18	4名	・ 平成31年度第活動計画 ・ 平成30年度事故報告並びに苦情報告
6/7	1名	・ 第一回現場見学及びサービス実態調査
8/22	1名	・ 第二回現場見学及びサービス実態調査
12/12	1名	・ 第三回現場見学及びサービス実態調査
2/13	3名	・ 令和元年度活動報告 ・ 令和2年度活動計画（案）

(5) 身体拘束廃止委員会

開催日	議 題
4/12	・身体拘束適正化委員会要綱 ・身体拘束防止マニュアルの見直し ・内部学習会
6/24	・内部学習会（虐待研修報告、コンプライアンス事例）
7/12	・身体拘束状況を踏まえての改善策・グレー対応 ・内部学習会について
8/26	・内部学習会（法制度説明、ミトン使用、被害妄想対応）
9/12	・身体拘束状況を踏まえての改善策 ・入所者への対応方法
10/16	・身体拘束状況を踏まえての改善策 ・入所者への対応方法
2/14	・身体拘束状況を踏まえての改善策 ・総括について

(6) 介護事故防止対策委員会

開催日	議 題
4/23	・事故対策指針の見直し ・事故発生時の対応及びルート見直し ・4月1日時点からの事故対策と共有方法 ・前年度の事故報告
4/25	・骨折について
7/17	・事故発生時の対応及び報告ルート見直し ・5～6月の事故対策と共有方法
8/29	・内部学習会（リスクマネジメント研修報告・離床センサー事例グループワーク）
10/29	・事故ヒヤリハット発生状況確認 ・7～10月の事故対策と共有方法 ・内出血報告方法 ・タブレット活用について
2/18	今年度の事故の統計 ・今年度反省 ・内部学習会 ・次年度計画

(7) ターミナル委員会

開催日	議 題
5/10	・現実実施者の確認・内部学習会について・期間中の振り返りについて
6/18	・入所者ターミナル担当者会議
9/27	・内部学習会
2/6	・終末期における医療の提供について
2/26	・現在の対象者の確認・総括について・次年度方針について・

(8) 褥瘡委員会

開催日	議 題
5/17	・活動計画について ・パトロールについて ・役割分担について ・内部学習会について ・マット等の購入について
8/9	・褥瘡の発生状況 ・パトロールについて ・エアーマット購入について ・内部学習会について ・指針について
11/15	・褥瘡の発生状況 ・パトロールについて
12/6	・内部学習会（リーディングの基本）

2/21	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の発生状況 ・パトロールについて ・活動の反省について ・活動計画について
------	---

(9) 痰の吸引等の安全対策委員会

開催日	議 題
5/8	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画 ・今年度のフローチャート及び役割分担 ・喀痰指示書 ・身体状況 ・ヒヤリハット
11/28	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰指示書 ・身体状況 ・ヒヤリハット
1/24	<ul style="list-style-type: none"> ・内部学習会（口腔内、鼻腔内吸引の手順）
1/28	<ul style="list-style-type: none"> ・内部学習会（口腔内、鼻腔内吸引の手順）

(10) 感染症委員会

開催日	議 題
6/25	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画について ・マニュアルについて ・ロールプレイについて ・食中毒の学習会について ・在宅応援体制について
7/12	<ul style="list-style-type: none"> ・内部学習会（食中毒について）
8/16	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・感染対策について
8/26	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・感染対応について ・食中毒の学習会の反省について
10/18	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・インフルエンザ予防接種について ・感染対策学習会について ・ロールプレイについて
11/1	<ul style="list-style-type: none"> ・内部学習会（施設における感染対策）
11/20	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・内部学習会の反省について ・インフルエンザ予防接種について ・発生した場合の対応について
1/17	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・12月から1月にかけての感染対応について
2/19	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・事業計画について ・マニュアルの確認について
3/19	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況について ・事業報告について

(11) オムツ消耗品担当委員会

開催日	議 題
5/3	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツ消耗品担当としての目的 ・活動内容について
6/3	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツパット類の単価について ・補充場所の確認について ・発注の目安について
7/29	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツ単価見える化を実施しての評価発注状況の確認について ・パット補充場所の確認 ・住民パットの見直しについて
10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツパット4～8月までの発注状況と前年度対比評価について ・住民の個別パット見直しについて
12/2	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツパット4～10月までの発注状況と前年対比評価について ・住民の個別パット見直しについて ・パット補充場所枚数の確認について
1/10	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツパット4～11月までの発注状況と前年対比評価について ・住民の個別パット見直しについて ・パット補充場所枚数の確認について ・今年度の活動の振り返りについて ・来年度活動計画について

2/7	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツパット4～12月までの発注状況と前年対比評価について ・住民の個別パット見直しについて ・パット補充場所枚数の確認について
-----	---

23 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

	事 故 種 別									
	受傷	発見	薬剤	非服用	転落	経管 漏れ	転倒	抜去	その他	受傷
件 数	40件	20件	20件	12件	12件	7件	5件	5件	33件	40件

(2) ヒヤリハット報告書提出件数

	ヒヤリはつと種別									
	発 見	ずり 落ち	薬 剤	転 落	座り 込み	義 歯 紛 失	ら 降 り る ベ ッ ド か	転 倒	非 服 用	そ の 他
件 数	22件	16件	16件	11件	9件	7件	7件	6件	6件	72件

第4章 在宅福祉課

○西和賀介護相談室（指定居宅介護支援事業所）

西和賀介護相談室（介護予防支援事業）

1 事業の総括

令和元年度から特定事業所加算を算定したことで、その要件を満たすための取り組みとして週1回の事業所会議において、各々のケアマネジメントを振り返ることや通知や制度など必要な知識、法令や各種通知などの情報を共有する機会を持つことができた。

作成依頼件数については、合計で1,265件、うち要支援の委託件数は439件で前年度実績を91件上回り、要介護者からの依頼件数も826件と前年度実績を20件上回ったことも相まって、前年度実績を111件上回ることができた。

2 重点目標

(1) 利用者本位のサービス提供

ア サービス担当者会議を開き情報を共有、また家族やサービス事業所から情報をいただいた時は、関係する事業所などへ連絡相談するなどチームで支援するサービス提供に努めた。

イ 消費税増税等に伴う年度途中での介護報酬改定について、比較的早い段階でほぼ確定したものが出されていたので、支障なくできた。加えて、特定処遇改善加算の関係で自己負担分の増額があったものの、ほぼ支障なく対応できた。

ウ 自立支援型ケア会議に参加し、専門職から様々な視点のアドバイスを受けることで包括的な支援に取り組めるようになってきた。また、従来のプランを自立支援のプランに見直すことで、本人及び家族のニーズを再確認するきっかけとなった。

(2) 安定した経営・運営の確立

ア 包括支援センターからの紹介や、かつて介護者だった方が認定を受けられての依頼などもあり徐々に利用者が増え、要支援に関しては目標の30件を上回る利用者数に達しているが、要介護については70件前後で増減を繰り返しており、目標の75件には達していない。

イ 特定事業所加算の取得条件を確認し、特にも介護の内容についてはケース検討だけでなく制度や業務内容の見直しや振り返りを組み込むことで、加算取得要件を満たす内容にしている。

ウ 請求事務について、包括支援センターの実績締め切りが早まったことにより、他事業所からの実績報告が早期に集まるようになったことで効率的に行えるようになってきた。

(3) 人材育成と働きやすい職場を目指して

ア 職場内外の研修等の参加や職員間での意見交換については、職場内外の研修等に参加し、研修報告会や事業所会議など情報の共有、意見交換する場を設けることで知識や技術を高め、質の向上に努めている。

イ 1か月の業務の流れや取得希望時期の確認により、計画的に有給休暇取得に取り組むことができた。

ウ 個々の課題を洗い出したうえで目標を設定し、介護支援専門員としての専門研修など必要な各種研修を受講できた。その内容を業務に反映させることが今後の課題に反映させることができた。

3 職員の状況

	所長	管理者	介護支援専門員	計
令和元年度	(1)	(1)	3.0	3.0 (1)
前年度	(1)	(1)	3.0	3.0 (1)

4 利用者の状況

	要支援		計	要介護					計	合計	相談 件数
	1	2		1	2	3	4	5			
4月	12	20	32	19	25	15	6	5	70	102	172
5月	14	19	33	18	25	13	8	5	69	102	175
6月	15	20	35	18	23	13	7	5	66	101	153
7月	14	20	34	19	24	13	8	5	69	103	188
8月	16	20	36	19	24	13	8	5	69	105	200
9月	16	21	37	22	23	13	6	5	69	106	151
10月	19	21	40	23	22	14	7	4	70	110	199
11月	19	22	41	25	23	13	6	4	71	112	170
12月	18	23	41	24	23	13	5	4	69	110	177
1月	16	22	38	23	21	14	7	2	67	105	171
2月	15	22	37	23	21	15	7	2	68	105	157
3月	14	21	35	24	20	17	6	2	69	104	193
計	188	251	439	257	274	166	81	48	826	1,265	2,106
前年度	126	222	348	251	256	180	80	39	806	1,154	1,878

5 会議の状況

(1) 職員会議

開催日	議 題	
4/4	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度総括及び事業報告について コスト削減と業務改善について 特定事業所加算取得要件について 	<ul style="list-style-type: none"> 前月実績の分析と今後の対応について 困難ケース等の検討及び情報交換 事例研究発表について
5/8	<ul style="list-style-type: none"> 前月実績の分析と今後の対応について 困難ケース等の検討及び情報交換 有給休暇取得について 	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減と業務改善について 平成30年度年間実績について
6/5	<ul style="list-style-type: none"> 前月実績の分析と今後の対応について 困難ケース等の検討及び情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減と業務改善について 有給休暇取得について
7/5	<ul style="list-style-type: none"> 前月実績の分析と今後の対応について 困難ケース等の検討及び情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減と業務改善について 有給休暇取得について
8/5	<ul style="list-style-type: none"> 前月実績の分析と今後の対応について 困難ケース等の検討及び情報交換 夏祭りの反省について 	<ul style="list-style-type: none"> 事例研究発表について 高額物品購入について
9/4	<ul style="list-style-type: none"> 前月実績の分析と今後の対応について 	<ul style="list-style-type: none"> 困難ケース等の検討及び情報交換

	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画と今年度事業計画の上半期総括について ・事例研究発表について ・特定処遇改善加算について
10/3	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績の分析と今後の対応について ・事例研究発表の反省について ・中長期計画と今年度事業計画の上半期総括について ・ケース検討及び情報交換
11/5	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績の分析と今後の対応について ・中長期計画と今年度事業計画について ・文化祭の反省について ・困難ケース等の検討及び情報交換
12/4	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績の分析と今後の対応について ・次年度物品購入と研修計画について ・家族懇談会の反省について ・困難ケース等の検討及び情報交換
1/7	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績の分析と今後の対応について ・次年度物品購入について ・次年度研修計画について ・困難ケース等の検討及び情報交換 ・人事要望について
2/6	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績の分析と今後の対応について ・困難ケース等の検討及び情報交換 ・今年度事業総括について ・次年度収入見込みについて ・人事要望について ・在宅介護実態調査票について
3/5	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績の分析と今後の対応について ・困難ケース等の検討及び情報交換 ・次年度重点目標及び業務分掌について ・今年度事業総括について

(2) 連絡会議

開催日時	毎週水曜日 8:45~9:30 (但し、職員鍵を開催した週を除く)
議 題	困難ケース等事例検討、法令通知等情報の確認と整理、相談援助方法の確認 各種制度等の学習会、担当者会議の持ち方と進め方、業務内容と業務範囲について

6 要介護等認定調査委託実施状況

	委託元	委託件数	委託元	委託件数	合計	備考
4月	西和賀町	2			2	
5月	西和賀町	2			2	
6月	西和賀町	2	北上市	1	3	
7月	西和賀町	2			2	
8月	西和賀町	4			4	
9月	西和賀町	2			2	
10月	西和賀町	2			2	
11月	西和賀町	2			2	
12月	西和賀町	2			2	
1月						
2月	西和賀町	2			2	
3月	西和賀町	2			2	
合計		24		1	25	

○ホームヘルプステーションぶなの園（指定訪問介護事業）

ホームヘルプステーションぶなの園（指定介護予防訪問介護事業）

1 事業の総括

令和元年度は人事異動等により職員体制に変更が生じ、事業に係わる職員が増えたため、必要な資格要件を満たすための研修等の受講を推し進めた。同行訪問による引継ぎ等も利用者及び家族の協力を得ながら丁寧に進めることを心掛け、支障なく事業を継続することができた。また、常に家族や関係事業所等と情報を共有し、安全に配慮した支援についても継続して取り組むことができた。

令和元年度の利用者のサービスの傾向として、要介護においては身体介護が増加したものの、生活支援と乗降介助が減少した。介護予防日常生活支援総合事業と指定障害福祉サービス事業は増加した。結果、全体では実利用者363人と前年度384人を21人下回ったものの、延べ利用者数は2,035人となり前年度1,859人を176人上回ることができた。1日平均についても6.6人となり、前年度1日平均5.9人を0.7人上回ることができた。

コスト削減と業務改善については、追加利用やキャンセル等があったときには訪問予定や配車などをすぐに見直し、常に円滑なサービス提供に配慮し業務にあたった。

2 重点目標

(1) 利用者本位の良質なサービス提供

ア 訪問の依頼に関しては可能な範囲で柔軟に対応し、急遽の依頼にも迅速に対応できた。

新規の乗降介助については利用時間が決められており、検討したが対応できず断わらざるをえなかった。

イ 利用者、介護者の思いを聞き入れ、状況によってケアマネや関係機関に相談し、安心して在宅生活ができるよう支援に努めた。

(1) 安定した経営・運営を目指して

ア 目標数値達成については、毎日利用される方もあり、1日平均6.6人となり目標数値である1日平均6.5人を上回ることができた。

イ 介護予防日常生活支援総合事業については、ケアマネや包括支援センターからの情報等を得ることにより、利用への実績につなげた。

(2) 働きやすい環境づくり

ア 福祉有償運送運転者講習や運転者適性検査など必要な研修を始めとした外部研修に参加することでスキルアップに努めるとともに、課内研修報告会を通じて情報共有ができた。

イ 業務改善について、個人台帳は常に整理整頓されており、備品確認もお互いに声を掛け合い確認できた。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長	(1)			(1)	
サービス提供責任者		1		1	1
うち介護福祉士		1		1	1
訪問介護員		1	1	2	1.7
うち介護福祉士		1	1	2	1.7

4 利用者の状況

(1) 介護度別実利用者数

	事業 対象者	要支援		計	要介護					計	合計
		1	2		1	2	3	4	5		
4月	1	4	4	9	8	8	4	0	3	22	31
5月	1	5	4	10	8	5	4	3	3	21	32
6月	1	4	4	9	10	5	3	1	3	20	29
7月	1	5	3	9	9	6	3	1	3	21	30
8月	1	3	4	8	8	7	3	1	3	22	30
9月	1	4	4	9	9	7	3	2	3	23	32
10月	1	5	4	10	9	6	3	1	3	21	31
11月	1	4	4	9	9	7	3	1	3	23	32
12月	1	4	4	9	10	6	3	2	2	21	30
1月	1	4	4	9	9	6	3	0	2	18	27
2月	1	4	4	9	8	5	4	3	2	21	30
3月	2	2	4	8	7	4	4	2	2	19	27
計	13	48	47	108	92	72	40	17	32	253	361
前年度	13	37	50	100	104	94	25	36	23	282	382

(2) 1日平均利用者数

	事業 対象者	要支援		計	要介護					計	合計	稼働 日数
		1	2		1	2	3	4	5			
4月	0.08	0.58	0.77	1.35	1.27	1.92	1.27	0.00	0.31	4.77	6.12	26
5月	0.07	0.74	0.81	1.56	1.04	0.89	1.56	0.37	0.56	4.41	5.96	27
6月	0.08	0.84	0.88	1.72	1.20	0.80	1.08	0.08	0.36	3.52	5.24	25
7月	0.07	0.89	0.81	1.70	1.26	0.96	1.59	0.07	0.44	4.33	6.04	27
8月	0.07	0.59	0.89	1.48	1.07	1.04	1.30	0.07	0.30	3.78	5.26	27
9月	0.08	0.76	0.96	1.72	1.52	1.20	1.60	0.16	0.44	4.92	6.64	25
10月	0.07	0.85	0.93	1.78	1.52	1.19	1.56	0.07	0.41	4.74	6.52	27
11月	0.08	0.88	0.73	1.62	1.50	1.35	1.54	0.08	0.35	4.81	6.42	26
12月	0.08	0.85	0.77	1.62	1.38	1.12	1.08	0.15	0.23	3.96	5.58	26
1月	0.07	0.78	0.59	1.37	1.19	1.19	0.56	0.00	0.26	3.19	4.56	27
2月	0.08	0.40	0.64	1.04	1.24	1.00	0.76	0.52	0.28	3.80	4.84	25
3月	0.23	0.31	0.85	1.15	1.27	0.96	0.88	0.73	0.31	4.15	5.31	26
計	0.09	0.71	0.80	1.60	1.29	1.13	1.23	0.19	0.35	4.20	5.80	314
前年度	0.08	0.50	0.77	1.35	1.63	1.53	0.41	0.41	0.21	4.20	5.55	313

(3) サービス種別実利用者数

	訪問				計	身体 介護	生活 援助	乗降 介助	身体 生活	計	合計
	I	II	III	IV							

4月	7	1	0	1	9	14	5	3	0	22	31
5月	6	3	0	1	10	12	5	6	0	23	33
6月	5	3	0	1	9	13	4	3	0	20	29
7月	5	3	0	1	9	13	4	4	0	21	30
8月	3	4	0	1	8	13	5	4	0	22	30
9月	5	3	0	1	9	14	5	5	0	24	33
10月	6	3	0	1	10	14	5	3	0	22	32
11月	6	2	0	1	9	15	5	5	0	25	34
12月	7	1	0	1	9	13	4	4	0	21	30
1月	6	2	0	1	9	12	3	3	0	18	27
2月	7	1	0	1	9	14	3	4	0	21	30
3月	5	1	0	2	8	13	3	3	0	19	27
計	68	27	0	13	108	160	51	47	0	258	366
前年度	66	23	0	13	102	150	91	52	2	295	397

(4) サービス種別延利用時間数

	訪 問				計	身体 介護	生活 援助	乗降 介助	身体 生活	計	合計
	I	II	III	IV							
4月	27.00	8.0	0.00	1.50	36.50	70.00	27.50	3.50	0.00	101.00	137.50
5月	19.00	23.00	0.00	1.50	43.50	61.00	21.75	8.50	0.00	91.25	134.75
6月	21.00	22.00	0.00	1.50	44.50	48.00	20.00	3.50	0.00	71.50	116.00
7月	20.00	26.00	0.00	1.50	47.50	65.50	21.75	4.00	0.00	91.25	138.75
8月	11.00	29.00	0.00	1.50	41.50	59.00	20.50	4.00	0.00	83.50	125.00
9月	18.00	25.00	0.00	1.50	44.50	71.00	24.00	5.00	0.00	100.00	144.50
10月	21.00	27.00	0.00	1.50	49.50	73.00	27.75	3.50	0.00	103.75	153.25
11月	22.00	12.75	0.00	1.50	36.25	74.50	24.75	5.00	0.00	103.75	140.00
12月	28.75	5.25	0.00	1.50	35.50	61.50	19.25	4.50	0.00	85.25	120.75
1月	19.25	10.50	0.00	1.50	31.25	56.50	18.00	3.00	0.00	77.50	108.75
2月	18.50	3.00	0.00	1.50	23.00	58.00	17.00	4.50	0.00	79.50	102.50
3月	18.00	6.75	0.00	4.50	29.25	63.00	18.00	3.50	0.00	84.50	113.75
計	243.00	198.25	0.00	21.00	462.75	761.00	259.25	52.50	0.00	1072.75	1535.50
前年度	232.00	160.00	0.00	18.00	410.00	651.00	454.75	59.50	5.25	1146.00	1556.00

5 会議の状況

職員会議

開催日	議 題
4/4	・前月実績に基づいた状況確認 ・前年度総括 ・コスト削減と業務改善
5/8	・前月実績に基づいた状況確認 ・業務分掌 ・第三者評価委員会同行訪問
6/6	・前月実績に基づいた状況確認 ・業務日課の見直し ・事例研究発表 ・有給休暇取得希望時期

7/3	・前月実績に基づいた状況確認	・コスト削減と業務改善	・家族懇談会の反省
8/8	・前月実績に基づいた状況確認 ・透析患者の乗降介助	・夏祭りの反省	・事例研究発表会
9/5	・前月実績に基づいた状況確認 ・事業計画と中長期計画の振り返り	・事例研究発表会	・コスト削減と業務改善
10/3	・前月実績に基づいた状況確認 ・事例研究発表の反省	・事業計画の進捗状況と上半期の総括	
11/6	・前月実績に基づいた状況確認 ・兼務職員の同行訪問	・下半期に向けての取り組み	・文化祭の反省
12/4	・前月実績に基づいた状況確認 ・家族懇談会の反省	・次年度物品購入と研修計画	
1/8	・前月実績に基づいた状況確認	・次年度の物品購入と研修計画	
2/4	・前月実績に基づいた状況確認	・今年度事業総括	・次年度人事要望
3/6	・前月実績に基づいた状況確認	・今年度総括	・次年度重点目標

6 研修受入れ

名 称	人数	実施時期	実施内容
西和賀高校 介護職員初任者研修	4名	7/31～8/1	同行訪問

○ホームヘルプステーションぶなの園（指定障害福祉サービス事業）

1 利用者の状況

	実利用者数					延利用者数				
	身体介護	生活援助	乗降介助	身体生活	計	身体介護	生活援助	乗降介助	身体生活	計
4月	1	1			2	9	9			18
5月	1	1			2	7	9			16
6月	1	1			2	6	7			13
7月	2	1			3	23	4			27
8月	2	0			2	16	0			16
9月	2	0			2	23	0			23
10月	2	0			2	25	0			25
11月	2	0			2	22	0			22
12月	2	0			2	26	0			26
1月	2	0			2	24	0			24
2月	2	0			2	23	0			23
3月	2	0			2	24	0			24
計	21	4	0	0	25	228	29	0	0	257
前年度	8	16	0	0	24	58	117	0	0	175

※延利用時間数は延利用者数に同じ

○ぶなの園営業所（一般乗用旅客自動車運送事業）

1 利用者の状況

	5km未満(600円)		5～15km未満(700円)		15km以上(1kmを増すごとに50円加算)		合 計	
	件数	延金額	件数	延金額	件数	延金額	件数	延金額
4月	3	1,800	4	2,800	2	1,800	9	6,400
5月	5	3,000	10	7,000	2	2,200	17	12,200
6月	3	1,800	4	2,800	2	1,800	9	6,400
7月	1	600	5	3,500	2	2,200	8	6,300
8月	3	1,800	5	3,500	0	0	8	5,300
9月	3	1,800	5	3,500	2	2,200	10	7,500
10月	1	600	4	2,800	2	2,200	7	5,600
11月	5	3,000	5	3,500	0	0	10	6,500
12月	3	1,800	4	2,800	2	2,200	9	6,800
1月	1	600	5	3,500	0	0	6	4,100
2月	3	1,800	4	2,800	2	2,200	9	6,800
3月	3	1,800	4	2,800	0	0	7	4,600
合計	34	20,400	59	41,300	16	16,800	109	78,500
前年度	49	29,400	74	51,800	24	24,000	147	105,200

○デイサービスセンターぶなの園（指定認知症対応型通所介護事業）定員 10 名

デイサービスセンターぶなの園（指定介護予防認知症対応型通所介護事業）

1 事業の総括

認知症対応型通所介護としての個別的なケアを心がけ実施している。年間利用者2,829人、1日平均9.0人となり、中長期計画における今年度の目標値1日平均8.8人を上回ることができた。利用者の体力維持のための体操や屋外での園芸活動、個別の創作活動等も継続できており、文化祭において数多くの作品の展示や活動内容を紹介することができた。

2 重点目標

(1) 利用者本位の良質なサービス提供

ア 送迎時や連絡帳を通し家族とのコミュニケーションを図り心身に関する情報を共有しサービスの提供に努めることを心がけ、利用者の変化に応じた対応ができた。

イ 業務マニュアルの見直しについて、利用者の増加に伴う業務量の増加に日々追われてしまい、計画的に見直し整備を行うことができなかった。

ウ 家族懇談会を通し家族から自宅での様子を聞くことができた。家族同士の経験からの助言などもあり、家族間の交流も図れた。6月と11月の2回開催でよかった。

(1) 安定した経営と運営に向けて

ア 目標とする稼働率については、毎月の実績を職員会議で確認できている。新規の利用希望に添えないことがあったが、既存の利用者の利用日の変更等などにはショートステイを

利用する方が増えてきたこともあり、日々の利用状況を確認し迅速かつ柔軟に受け入れることができた。

新規利用の依頼については、曜日別の利用登録者数で定員を超過する日が増えたことにより受け入れを躊躇してしまい、利用開始まで時間を要してしまったことはあったが、最終的に取り込むことができた。

イ 日常業務の見直しについて、改善が必要なことを職員会議などで話し合い、申し送りの時間の短縮、入浴担当を決めたことで入浴業務を円滑におこなうことができた。一方で、事業所で所有する物品が増え収納場所と方法に工夫が必要になってきた。

(3) 人材育成と働き甲斐のある職場を目指して

ア 外部での研修に参加できた。認知症については、内部での学習会を行うことで知識と情報の共有ができた。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長	(1)			(1)	
生活相談員	1(1)			1(1)	1.3
介護従事者	(1)	2	2	4(1)	4.7
うち介護福祉士	(1)	2	0	2(1)	2.7
看護職員			2	2	0.7

4 利用者の状況

(1) 実利用者数

	要支援		計	要介護					計	合計
	1	2		1	2	3	4	5		
4月	0	0	0	6	6	9	1	2	24	24
5月	0	0	0	5	6	10	2	2	24	24
6月	0	0	0	5	5	9	3	2	24	24
7月	0	0	0	5	6	9	3	2	25	25
8月	0	0	0	5	6	8	3	1	23	23
9月	0	0	0	4	6	8	3	2	23	23
10月	0	0	0	5	7	10	3	0	25	25
11月	0	0	0	5	7	10	3	0	25	25
12月	0	0	0	4	7	10	2	0	23	23
1月	0	0	0	6	7	8	4	0	25	25
2月	0	0	0	5	8	8	4	0	25	25
3月	0	0	0	5	8	9	3	0	25	25
計	0	0	1	60	79	108	34	11	292	292
前年度	0	1	1	117	61	90	28	5	301	302

(2) 延利用者数

	要支援		計	要介護					計	合計
	1	2		1	2	3	4	5		
4月	0	0	0	57	74	92	5	10	238	238
5月	0	0	0	47	65	103	18	12	245	245
6月	0	0	0	47	60	93	17	15	232	232
7月	0	0	0	55	67	101	18	10	251	251
8月	0	0	0	37	70	90	19	8	224	224
9月	0	0	0	38	66	84	19	9	216	216
10月	0	0	0	52	67	112	19	0	250	250
11月	0	0	0	45	72	110	14	0	241	241
12月	0	0	0	38	73	107	13	0	231	231
1月	0	0	0	50	71	95	13	0	229	229
2月	0	0	0	43	79	93	17	0	232	232
3月	0	0	0	47	79	99	15	0	240	240
計	0	0	0	556	843	1,179	187	64	2,829	2,829
前年度	0	2	2	1,035	703	835	100	37	2,710	2,712

(3) 1日平均利用者数

	要支援		計	要介護					計	合計	稼働 日数
	1	2		1	2	3	4	5			
4月	0.00	0.00	0.00	2.19	2.85	3.54	0.19	0.38	9.15	9.15	26
5月	0.00	0.00	0.00	1.74	2.41	3.81	0.67	0.44	9.07	9.07	27
6月	0.00	0.00	0.00	1.88	2.40	3.72	0.68	0.60	9.28	9.28	25
7月	0.00	0.00	0.00	2.04	2.48	3.74	0.67	0.37	9.30	9.30	27
8月	0.00	0.00	0.00	1.37	2.59	3.33	0.70	0.30	8.30	8.30	27
9月	0.00	0.00	0.00	1.52	2.64	3.36	0.76	0.36	8.64	8.64	25
10月	0.00	0.00	0.00	1.93	2.48	4.15	0.70	0.00	9.26	9.26	27
11月	0.00	0.00	0.00	1.73	2.77	4.23	0.54	0.00	9.27	9.27	26
12月	0.00	0.00	0.00	1.46	2.81	4.12	0.50	0.00	8.88	8.88	26
1月	0.00	0.00	0.00	1.92	2.73	3.65	0.50	0.00	8.81	8.81	26
2月	0.00	0.00	0.00	1.72	3.16	3.72	0.68	0.00	9.28	9.28	25
3月	0.00	0.00	0.00	1.81	3.04	3.81	0.58	0.00	9.23	9.23	26
計	0.00	0.00	0.00	1.78	2.69	3.77	0.60	0.20	9.04	9.04	313
前年度	0.00	0.01	0.01	3.33	2.26	2.68	0.32	0.12	8.71	8.72	311

5 会議の状況

職員会議

開催日	議 題
4/5	・アクティビティについて ・前月実績に基づいた状況確認

	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度総括について ・A型サロンについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減と業務改善について
5/8	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・アクティビティについて ・事例研究発表について 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直し担当の確認 ・コスト削減と業務改善について
6/6	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・有給休暇について ・事例研究発表について 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日課票の見直しについて ・家族懇談会について ・兼務発令職員の同行訪問について
7/5	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・事例研究発表について ・季節の外出行事について 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減と業務改善について ・家族懇談会の反省について
8/5	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・夏祭りの反省について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究発表について ・年度途中の高額物品購入について
9/4	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・事業計画及び中長期計画の進捗状況について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究発表について ・コスト削減と業務改善について
10/4	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・事例研究発表の反省について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の進捗状況について ・中長期計画の振り返りについて
11/6	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・家族懇談会について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の進捗状況について ・文化祭の反省について
12/4	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・クリスマス忘年会 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の物品購入について ・家族懇談会の反省について
1/8	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度物品購入と研修計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者小正月行事について
2/4	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・今年度事業統括について 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度人事要望について ・アイパッドの活用方法について
3/6	<ul style="list-style-type: none"> ・前月実績に基づいた状況確認 ・今年度総括について 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度重点目標について

6 行事の状況

名称	実施時期	実施内容
華道教室	4/23、6/10、8/21 10/24、1/21、2/10	地域ボランティアの講師を依頼し、利用者を楽しむ
ドライブ	4/29、5/1～4、18 5/30、6/25、28 7/1、6、13、8/3 9/7、10/26、2/8	季節の移り変わりを感じていただく 沢内小学校運動会観覧(5/18)、地域学校公開(7/1) せんだん保育所運動会観覧(9/7) 外出先でソフトクリームを食べる(8/3)
クリスマス忘年会	12/25	おやつクッキング、ゲーム大会などで楽しむ
新年小正月行事	1/16	ほっぴき大会などで楽しむ

7 研修受け入れ

なし

8 運営推進会議

開催日	参加者	内 容
6/12	運営推進委員 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービスセンターぶなの園の活動内容について ・ 意見交換
12/17	運営推進委員 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービスセンターぶなの園の活動内容について ・ 意見交換 ・ 任期満了に伴う次期委員の委嘱について

○在宅福祉課共通

1 在宅リーダー会議

開催日	議 題
4/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度総括及び各事業所実績について ・ コスト削減と業務改善について
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度各事業所実績集計について ・ 業務分掌について
6/4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務日課表等の見直しについて ・ 第三者評価委員提供現場見学及び同行訪問について ・ 兼務発令職員の同行訪問について
7/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所コスト削減と業務改善の取り組み状況について ・ 有給休暇取得について ・ 訪問介護実地指導について
8/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度途中の高額物品購入について ・ 第三者評価委員会開催について ・ コスト削減と業務改善について
9/3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例研究発表について ・ 課内研修報告会について
10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画及び中長期計画の進捗状況について ・ 課内研修報告会について
11/5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の進捗状況について ・ 在宅第三者評価委員会提供現場見学について
12/3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度物品購入と各種予算要望について ・ 第三者評価委員提供現場見学について
1/7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度各種予算要望と購入希望物品について ・ 第三者評価委員会議について ・ 感染症対策について
2/4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者評価委員会議開催について ・ 感染症対応について ・ 今年度事業総括について
3/5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度事業計画策定について ・ 今年度事業総括について

2 第三者評価委員会

開催日	参加者	内容
6/10	第三者委員 2名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
6/11	第三者委員 1名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
6/18	第三者委員 1名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
9/10	第三者委員 3名	・利用者聞き取り（訪問）調査の結果報告 ・サービス提供現場見学の評価報告 ・各事業所事故事例及び苦情の概要報告 ・今後の活動予定について
12/6	第三者委員 2名	・通所介護現場見学及びサービス実態調査
12/9	第三者委員 1名	・通所介護現場見学及びサービス実態調査
12/13	第三者委員 1名	・通所介護現場見学及びサービス実態調査
2/21	第三者委員 3名	・利用者聞き取り（訪問）調査の結果報告 ・サービス提供現場見学の評価報告 ・各事業所事故事例及び苦情の概要報告 ・来年度の活動予定について

3 在宅福祉課家族懇談会

開催日	参加者	内容
6/26	デイぶな利用者及び家族 ヘルパー利用者家族 計 5名	・各事業所より利用状況等の報告とお知らせ ・西和賀町認知症ガイドブックの紹介 ・意見交換
11/26	デイぶな利用者家族 ヘルパー利用者家族 計 7名	・各事業所より利用状況等の報告とお知らせ ・感染症対応についてお知らせとお願い ・意見交換

4 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

	事故種別		
	利用予定の誤確認	受診を要する負傷等	その他
ヘルパー			
デイぶな		1件	
西介			

(2) ヒヤリはっと報告書提出件数

	ヒヤリはっと種別					
	利用者宅 訪問違い	所持品 取り違い	尻もち (屋内)	転倒 (負傷無)	異食行為	爪を挟む (負傷無)
ヘルパー	1件					
デイぶな		2件	1件	1件	3件	1件
西介						

(2) 苦情受付状況
なし

第5章 高齢者生活福祉センター

○デイサービスセンターかたくりの園（指定通所介護事業）定員30名

デイサービスセンターかたくりの園（指定介護予防通所介護事業）含む

1 事業の総括

利用者の皆さんが少しでも長くご利用いただけるように、ご本人やご家族の要望を伺いながらサービス内容を工夫し取組みました。その結果、年間延べ人数目標の7,440人に対して7,741と目標を達成することができました。また、1日平均24人の目標利用人数に対しても25人と達成することができています。令和元年度の利用率は89%で昨年度の88%と大きく変わることはありませんでした。事業所目標としていた「利用者の目線に立った介護」を継続してきたことで、特殊浴槽を新しくするなど入浴に関する見直しを行なうことができています。またアクティビティでは活動内容を見直すなど、楽しく活動できるように改善し、次回の利用に繋げることができるように取り組むことができた。

2 重点目標

(1) 利用者本位の良質なサービス提供

ア 人権を尊重したサービスを目指し、毎月1回実施している介護サービス会議にて、利用者個々への支援内容を再確認し、職員が統一を図るよう努めてきた。また、ヒヤリはっとの分析及び事故の課題解決に向けて取り組むことができた。

イ 送迎時に家族から食事や着替え、服薬などの要望を確認し対応している。また、家族懇談会にて、食事関係や排泄関係など、家族に変わって説明してほしいとの要望があり適宜対応にあたっている。個別援助計画に基づく介護の統一が課題となっている。

ウ 情報の共有を図りながら職員間の連携により、計画的に物事を進めることができるように努めてきたが協力を得ることが難しい状況もあった。また、ご家族から、自宅での様子を確認し対応にあたりると共に、利用時の情報をご家族に伝え、特に利用者の健康状態を報告することで早期受診などにつながっている。

(2) 安定した経営・運営に向けて

ア 今年度目標としていた稼働率80%を目指し取り組んだ結果、目標を超える稼働率83%を達成することができた。しかし、事業対象者と総合事業の利用者が増えはじめ、要介護者の利用人数は増えることもなく収入増に繋げることができていない。

イ サロン活動では、実施予定としていた若畑地区は、役場健康福祉課からの説明を受けているが、地域性もあって実施に至っていない。今後は地域からの実施要望に期待したい。また、貝沢地区は既に地域活動としてB型サロンを実施中とのことで、現在は太田地区の1地区のみの活動となっている。

ウ 毎月リーダー会議にて、利用者にとって安全で安心できる環境などの改善策を検討している。特に入浴時の丁字カミソリ使用を電気シェーバーに変えることで皮膚を傷つけることはなくなった。また、衛生面でも経費削減を念頭に足ふきマットを使用することで清潔保持に努めた。

エ 毎週木曜日の午前にボランティア1名からアクティビティ活動を手伝っていただいている。更に、3日間実施した敬老会では三保育所を含めた50人の方々から踊りなどお祝を

していただきました。また、忘年会では13人の皆様に協力をいただき、地域の皆様方と交流を深めることができた。実習生の受入として、西和賀高校3年生の介護職員初任者研修で4人を受入れる事が出来ている。

(3) 人材育成と働きやすい職場づくり

ア 事例研究として、年度初めに利用者に係わる課題解決に向けて検討し、今年度は一人の方に絞り、自宅で出来ることを少しでも増やせることを目的に、年間計画を策定し取り組んできた。しかし、情報量が少なく事例に対する積極性が足りないと感じた。そのため、まとめに時間を要するなど、チーム力としては高めることはできていない。

イ 職員の資質向上につなげることができるよう、年4回内部研修を実施してきましたが、勤務時間外での実施となり、パート職員の参加を得ることが難しく連携に課題が残る結果となった。

ウ 相互に支え合う職場を目指し、利用人数が増えたことで、食事席や入浴の順番などを職員間で調整し、安心した利用につながるようチームで取り組むことができた。

エ 働き方改革により、対象となる職員の年次有給休暇取得を本人の希望等を考慮しながら計画的に実施できた。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長	(1)			(1)	(1.0)
生活相談員	(3)			(3)	1.4
介護職員	3 (1)		8 (2)	11 (3)	10.4
うち介護福祉士	3 (1)		2	5 (1)	5.2
看護職員	(1)		(2)	(3)	(1.5)
機能訓練指導員	(1)		(2)	(3)	(1.5)

※ () 兼務

4 利用者の状況

	件数	延人数	開所日数	食事	一般浴	特浴	送迎回数	1日当たり利用者数
4月	93(43)	622(228)	26	612(228)	612(227)	58(0)	267	23.9(8.8)
5月	95(45)	646(246)	27	639(246)	616(237)	52(0)	288	24.8(9.5)
6月	99(49)	646(255)	25	641(255)	641(255)	58(0)	270	25.8(10.2)
7月	98(49)	693(279)	27	611(238)	680(279)	43(0)	297	25.6(10.3)
8月	99(52)	629(271)	27	609(261)	618(266)	30(0)	286	23.2(10.0)
9月	103(53)	627(254)	25	623(254)	621(254)	37(0)	270	25.0(10.1)
10月	104(56)	682(291)	27	672(291)	673(290)	49(0)	295	25.2(10.7)
11月	104(54)	666(288)	26	663(288)	655(288)	40(0)	270	25.6(11.0)
12月	103(54)	657(282)	26	649(282)	652(280)	43(0)	284	25.2(10.8)
1月	98(50)	633(265)	26	619(265)	621(265)	37(0)	235	24.3(10.1)
2月	98(49)	625(263)	25	613(259)	619(259)	51(0)	250	25.0(10.5)
3月	96(46)	615(240)	26	591(240)	604(239)	46(0)	245	23.6(9.22)
合計	1,190(600)	7,741(3,162)	313	7,542(3,107)	7,000(3,139)	544(0)	3,257	24.7(10.1)

前年度	1,059(436)	7,345(2,396)	311	7,084(2,365)	6,332(2,395)	672(0)	3,282	23.6(7.7)
-----	------------	--------------	-----	--------------	--------------	--------	-------	-----------

※（ ）は総合事業〔これまでの要支援・事業対象者〕

5 会議の状況

(1) 職員会議

開催日	議 題
4/4	・課長会議報告・リーダー会議報告・活動計画について・支援ハウス利用状況 ・事業運営について（事業報告、支援総合事業、物品購入、事例研究）他
5/9	・課長会議報告・リーダー会議報告・コスト削減と業務改善について ・事業運営について（事業報告、支援総合事業、事例研究）他
6/6	・課長会議報告・リーダー会議報告・コスト削減と業務改善について ・事業運営について（事業報告、支援総合事業、事例研究、内部研修計画、環境整備） ・第三者評価委員会からの報告 他
7/4	・課長会議報告・リーダー会議報告・コスト削減と業務改善について・事業運営に ついて（事業報告、支援総合事業、事例研究、総合避難訓練）・夏祭り 他
8/7	・課長会議報告・リーダー会議報告・活動計画について・通所介護計画について ・事業運営について（支援総合事業・事例研究・西高初任者研修受入・夏祭り反省） 他
9/5	・課長会議報告・リーダー会議報告・法人内人事交流について・文化祭に向けて ・事業運営について（支援総合事業、事例研究、ストレスチェック、敬老会）他
10/3	・課長会議報告・リーダー会議報告・法人内人事交流について・文化祭について ・事業運営について（支援総合事業、事例研究反省、敬老会反省、事業報告上期反省） ・支援ハウス説明 他
11/5	・課長会議報告・リーダー会議報告・支援ハウスについて・特殊浴槽設置 ・事業運営について（支援総合事業、業務改善、経費削減、文化祭反省、総合避難 訓練）・情報公表 他
12/5	・課長会議報告・リーダー会議報告・特殊浴槽設置後の評価・事業運営について（支 援総合事業、業務改善、経費削減、感染症対応、居住対応、利用者忘年会）
1/9	・課長会議報告・リーダー会議報告・法人内人事交流評価 ・事業運営について（支援総合事業、業務改善、経費削減、中長期計画反省、事業 計画反省、次年度購入物品、感染症対応）他（購入検討委員会）
2/6	・課長会議報告・リーダー会議報告・事業運営について（支援総合事業、業務改善、 経費削減、中長期計画見直し、事業計画反省、感染症対応） ・家族懇談会 他（第三者評価視察）
3/6	・課長会議報告・リーダー会議報告・事業運営について（令和2年度事業計画・委 員会担当・令和元年度事業計画反省、事業所目標 ・アクティビティ評価と活動の見直し・感染症対応）・他（理事会、全職員会議）

(2) リーダー会議

開催日	議 題
4/2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、3月事業実績、予防事業実績） ・（平成30年度事業計画反省、令和2年度事業計画確認、事例研究、物品購入） ・支援ハウス（実施状況、退居予定）他
5/7	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、4月事業実績、予防事業実績）・年度事業（業務分掌、防災組織図、事例研究）・コスト削減と業務改善について ・その他
6/4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、5月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（事業報告、第三者評価委員会報告、業務分掌、事例研究、内部研修、環境整備）他
7/4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、6月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（第三者評価委員会報告、第一四半期評価、防災訓練、事例研究、内部研修、夏祭り）他
8/5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、7月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（事例研究・西高初任者研修受入・夏祭り反省） ・行事予定（敬老会準備）他
9/2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、8月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（利用者確保、敬老会、事例研究、法人内人事交流について ・文化祭に向けて） ・行事予定（敬老会準備）他
10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、9月事業実績、予防事業実施予定） ・年度事業（利用者確保、敬老会反省、事例研究反省、上期事業計画進捗、下期購入物品検討、法人内人事交流について ・文化祭について、情報公表） ・行事（情報公表） ・支援ハウス説明 他
11/5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、10月事業実績、予防事業実施予定） ・年度事業（上期事業計画進捗、中長期計画上期進捗、文化祭反省、支援ハウスについて・特殊浴槽設置、総合避難訓練） 他（情報公表報告）
12/3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、11月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（経費削減、業務改善、感染症対応、居住対応、特殊浴槽設置後の評価） ・行事予定（利用者忘年会） 他
1/8	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、12月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（利用者忘年会反省、業務改善・感染症対応、次年度購入物品、法人内人事交流評価、中長期計画反省、事業計画反省、次年度購入物品） 他
2/4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、1月事業実績、予防事業実績） ・年度事業（経費削減、業務改善、感染症対応、家族懇談会、第三者委員会、次年度事業計画、年間予定、次年度委員選考） ・行事予定（雪あかり） 他（第三者委員会）
3/4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営（課長会議報告、2月事業実績、予防事業実績、事業所目標） ・年度事業（事業計画反省、次年度事業計画、年間予定、アクティビティ評価と活動の見直し・感染症対応） ・他（理事会、全職員会議）

(3) 介護サービス会議

開催日	議 題
4/17	・個別介助確認事項 ・行事確認事項（花見ドライブについて） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会から 他
5/15	・個別介助確認事項 ・行事確認事項（食の旅&買物聞き取り調査） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会から 他（内部研修について）
6/18	・個別介助確認事項 ・行事確認事項（職の旅について） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会から 他
7/17	・個別介助確認事項 ・行事確認事項（食の旅について） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 ・他（内部研修について）
8/21	・個別介助確認事項 ・行事確認事項 ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 他（回想法「稲刈り」について）
9/18	・個別介助確認事項 ・行事確認（敬老会について） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 ・事例研究まとめ（自立支援） 他（内部研修について）
10/18	・個別介助確認事項 ・行事確認（文化祭について） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 他
11/13	・個別介助確認事項 ・行事確認（秋祭り・紅葉ドライブ） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 ・その他（感染症、居住対応について、内部研修について）
12/23	・個別介助確認事項 ・行事確認（利用者忘年会） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 他（小正月について、内部研修について）
1/16	・個別介助確認事項 ・行事確認（書初め、クッキング） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 ・その他（感染症について）
2/25	・個別介助確認事項 ・行事確認（節分、雪あかり） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会 ・その他（感染症について）
3/12	・個別介助確認事項 ・行事確認（新年度体制） ・ヒヤリはっと事故確認 ・アクティビティ委員会（次年度計画） ・その他（感染症について）

6 訪問ボランティア・研修受入

月 日	地 区	ボランティア名	内 容	人 数
毎週1回	小繫沢	高橋セツ	アクティビティ支援 生花の展示(2回)	1名
9/10	新 町	新町保育所	敬老会 遊戯 歌	11名
9/11	太 田	梅檀保育所	敬老会 遊戯 歌	19名
9/12	川 舟	川舟保育所	敬老会 遊戯 歌	11名
9/12	町 内	趣味の会	敬老会 踊り	4名
9/10	新 町	新町婦人の会	敬老会 踊り	6名
9/11	内の沢	内の沢婦人会	敬老会 踊り	5名
12/19	町 内	ワークステーション	忘年会 太鼓 朗読	10名
12/20	町 内	カトレアの会	忘年会 踊り	2名

12/20	前郷	高橋敏子	忘年会 踊り	1名
12/21	町内	佐藤敦士	忘年会 ギター 歌 手品	1名

研修受入

月 日	研 修 者	内 容	人 数
7/31	西和賀高等学校 福祉コース3年生	初任者研修現場実習	2名
8/1	西和賀高等学校 福祉コース3年生	初任者研修現場実習	2名
2/21	岩手県立大学(いわて銀河ネット主催)	雪国の暮らし等を学ぶ	3名

7 第三者評価委員会の実施状況

開催日	参加者	内 容
4/18	6名	平成30年度事業報告について 平成31年度事業方針及び重点目標について 平成31年度組織図について 平成31年度利用者及び職員日課について アクティビティ活動要綱について
5/21	1名	活動見学及びサービス実態調査
8/20	1名	活動見学及びサービス実態調査
10/19	4名	家族懇談会参加 活動見学及びサービス実態調査報告 第三者評価委員今年度活動報告及び次年度活動計画
2/18	5名	第三者評価委員の任期について 第三者評価委員設置運営要綱について 家族懇談会実施結果報告 令和元年度事業報告 令和2年度活動計画 令和元年度ひやりハット・介護事故・苦情報告

8 行事の状況

名 称	実施時期	実施内容
花見ドライブ	4/15～20	町内桜の名所ドライブ見学
沢内小学校運動会見学	5/18	沢内小の第9回運動会 子供たちの成長を見学
さなぶり弁当	6/12～13	田植え終わりの豊作祈願
おにぎりバイキング	6/26～6/27	5種類のおにぎりからお好みを選んでいただく
食の旅&買い物ツアー	7/1～8/29	利用者外食と買い物支援
七夕行事食	7/7	そーめんて天の川をイメージ
カキ氷祭り	7/29～8/2	利用者に涼を楽しんでいただく
敬老会	9/10～9/12	保育所、地域のボランティア協力による唄や踊り
紅葉ドライブ	10/28～11/2	町内紅葉の名所

やすらぎ会文化祭見学	10/25	自分たちの作品展示を見学
秋祭り	11/21～11/23	模擬店を設置し注文をしていただく
利用者忘年会	12/19～12/21	地域のボランティア協力による唄や踊り
大掃除	12/27	利用者と施設内を掃除 新年を迎える生花準備
書初め	1/2	利用者さんに今年の抱負などを書き初めに
正月遊び	1/15～1/16	昔懐かしいすごろくで正月気分
七草粥	1/7	利用者さんと無病息災を願う
ミズキだんご作り	1/10	ミズキだんご作り
ほっぴき	1/15～1/17	昔懐かしいほっぴきで小正月気分
クッキング①	2/17～7/20	利用者とおやつホットケーキづくり
節分豆まき	2/3	利用者年女の方に豆まきで健康祈願
雪あかり	2/1～2/9	利用者・居住者にロウソクの光を楽しんでいただく
クッキング②	2/17～2/20	利用者とおやつのたこ焼きづくり
クッキング③	3/17～3/20	利用者とおやつのお好み焼きづくり

9 家族懇談会

開催日	参加者	内容
10/19	家族 17名 第三者評価委員 2名	令和元年度の利用者状況報告 事故・ヒヤリはっと報告 第三者委員実態調査報告 感染症について 特殊浴槽入れ替えについて 意見交換

10 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

	事故種別		
	転倒による打撲	歩行中の転倒による擦り傷	髭剃りによる皮膚傷
4件	1件	2件	1件

(2) ヒヤリはっと報告書提出件数

	ヒヤリはっと種別					
	誤配	膝つき・転倒	調理	服薬	送迎	その他
27件	2件	8件	0件	2件	6件	9件

11 苦情受付状況

相談の分類	苦情件数
職員対応	1件

○生活支援ハウス事業(受託事業)

1 事業の総括

令和元年度は、7名の方々にご利用いただきました。11月から徐々に入居者も増え始め、12月には全員入居することができました。前年度と比較して2名の居住者が変わり居住生活に馴染んでいただけるか心配しながら対応にあたった。また、交流の場を提供し安心して生活出来るように支援できた。

利用期間中は、带状疱疹により数日間入院された方と、居室内で転倒し肋骨骨折痛により入院した方、更に、体調を崩され入院した方の2人が早期に退居されている。いずれも常に職員による状態確認と他在宅事業所との連携により早期対応することができた。しかし、介護認定を受けている方が多く常に職員の見守りが不可欠となっている。

ご利用いただいた方々には安心してご利用いただけるように、昨年度発生した設備故障の修理や設置機器の交換などを行うことができた。

2 重点目標の反省

- (1) 入居者の健康管理に対し、毎朝入居者に集まっていただき健康チェックを行ってきた。また、夜間と朝に宿直者による安否確認を毎日実施することで、安全に安心した日常生活ができるよう努めている。
- (2) 入居者交流に向けて、毎月1回、入居者の会を開催することで、居住者からの要望などについて相談されることもあり、早急に解決できるように支援できた。
- (3) 入居者の日常生活の支援としては、家族が関わる機会を増やすことや、町民バスを利用するなど在宅生活につながるよう支援できた。
- (4) 入居者のサービス利用に関して、他事業所との連携をもって必要なサービス利用の支援を行う事が出来た。各種活動に参加していただき、地域の方々との交流できるように支援できた。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	合計
生活援助員	1			1

4 入居者の状況

	実人数	延人数	1人当たりの利用日数	1ヶ月の開所した日数	1日あたりの利用人数	2人部屋の利用状況	2人部屋の利用人数
4月	1	6	0.1	30	0.2	3	0
11月	4	82	20.5	30	2.7	3	2
12月	7	209	29.9	31	6.7	3	3
1月	7	202	29.0	31	6.5	3	3
2月	7	200	29.0	29	6.9	3	3
3月	6	171	29.0	31	5.5	3	2
合計	32	870	22.9	182	4.8	18	13
前年度	38	856	21.5	179	4.8	18	18

5 事故報告書提出件数

事故の種別	発生件数
左肋骨骨折	1件

○介護予防・日常生活支援総合事業(A型サロン)

1 事業の総括

令和元年度は、年間を通して1ヶ所の実施となった。毎月1回の活動ではありましたが、役場健康福祉課からご当地体操の指導をいただくなど、新たな取り組み実施することで、筋力の維持や脳への刺激を与える活動に取り組むことができた。また、嚥下状態の維持につながり、安心して食事ができるように食事前の口腔体操も毎回実施している。更に、外出の機会を増やすことで社会参加を促すことができた。

次年度においては、地域との連携が上手くいくように包括支援センターからも協力を得ながら継続して実施していく。

2 重点目標

- (1) 実施地区拡大を目指し、1地区に対しては包括支援センターから活動目的などの説明会を開催するなど取り組んできましたが、活動の実施には至っていない。また、新型コロナウイルス感染の予防に伴い、3月の活動は中止している。
- (2) 今年度の事業についても、在宅福祉課からデイサービス職員が参加することで、新たな活動を楽しめる集いの場を提供することができた。また、外部講師を依頼するなど更に活動の幅が広がった。

3 実施状況

	実施地区	対象者人数	活動内容	協力関係機関
4月	太田地区	12人	血圧測定、体力測定、口腔体操 基本チェックリスト記入等	
5月	太田地区	12人	血圧測定、体力測定、口腔体操 基本チェックリスト記入等	
6月	太田地区	10人	外出（花巻バラ園）	
7月	太田地区	11人	血圧測定、体力測定、口腔体操 ご当地体操等	健康福祉課
8月	太田地区	11人	血圧測定、体力測定、口腔体操 体操、記憶力	第一興商
9月	太田地区	9人	外出（長瀬ぶどう園、道の駅）	
10月	太田地区	13人	血圧測定、体力測定、口腔体操 輪投げ等	
11月	太田地区	11人	血圧測定、体力測定、口腔体操 シルバー体操等	シルバーリハビリ
12月	太田地区	9人	血圧測定、体力測定、口腔体操 忘年会等	

1月	太田地区	10人	血圧測定、体力測定、口腔体操 折り紙等	
2月	太田地区	10人	血圧測定、体力測定、口腔体操 スクエアステップ等	
3月	太田地区	0人	新型コロナウイルス感染予防に よる中止	
合計	1地区	118人		11回 3回
前年度	1地区	141人		12回 2回

第6章 各委員会

1 各委員会総括

(1) 衛生委員会

【総括】

- ① 委員長の交替により、事業計画の把握と事業実施について不十分のまま年度末を迎えた。職員の健康状況については、委員からの情報を共有できたが職員のストレス改善についてはチェックのみで委員会活動には対応できなかった。
- ② 「栄養士による食の健康講話」、「ストレッチヨガ」が中止となった。
- ③ 施設内労働環境については、定期的に安全パトロールを実施し改善に取り組んだ。
- ④ 産業医の健康講話は「糖尿病を知ろう」をテーマに産業医を交えた研修会を実施。その後、職員検診において腎機能を診る検査として尿中アルブミンの検査が有効とされたことから検査項目を増やすことを確認した。

【年間活動報告】

実施日	実施内容
4月15日	・安全パトロール改善報告について(在宅から交流スペース) ・2019年度活動について
5月20日	・安全パトロール実施結果について(3丁目からショート) ・食事からの健康づくりについて ・ストレッチヨガ講習会について
6月18日	・安全パトロールの改善結果について(3丁目から介護材料室) ・安全パトロールの実施報告について(かたくりの園) ・職員健康診断の実施報告について
7月16日	・安全パトロールの改善報告について(ぶなの園) ・安全パトロールの改善報告について(かたくりの園)
8月19日	・安全パトロールの改善報告について(1・2丁目から食堂) ・健康診断の結果について ・栄養士の健康講話について
9月17日	・安全パトロール実施報告について(在宅から地域交流の場) ・健康講話について
10月15日	・職員のストレスチェックについて ・健康講話について
11月18日	・感染防止対策(インフルエンザ予防接種・施設内の温度、湿度管理)
12月17日	・健康診断項目の検討 ・ストレスチェックの結果分析及び改善について
1月20日	・労働安全衛生法における労働衛生管理について
3月17日	・安全パトロール実施結果について(在宅から交流スペース) ・令和元年度総括について ・令和2年度の委員について

(2) 広報委員会

【総括】

- ① 年6回の発行を継続し、旬の話題を中心に紙面構成することができた。
- ② デイサービスぶなの園及びかたくりの園のコーナー等で、在宅サービスの情報発信にも努めた。
- ③ 利用者の普段の表情や暮らしの様子をご家族及び地域の方々にお伝えできるよう意識した。

【年間活動報告】

月	実施日	実施内容	備考
31.4月	19日(金)	第1回広報委員会 ・平成31年度活動方針、計画について ・第92号企画	委員4名
5月	15日(水)	・第92号制作 ・第92号発行	
	23日(木)	第2回広報委員会 ・第93号企画	委員3名
6月		・第93号制作	
7月	15日(月)	・第93号発行	
	26日(金)	第3回広報委員会 ・第94号企画	委員3名 施設長
8月		・第94号制作	
9月	15日(日)	・第94号発行	
	19日(木)	第4回広報委員会 ・第95号企画	委員5名
10月		・第95号制作	
11月	15日(金)	・第95号発行	
	21日(木)	第5回広報委員会 ・第96号企画	委員4名
12月		・第96号制作	
2.1月	25日(土)	・第96号発行	
	31日(金)	第6回広報委員会 ・第97号企画	委員4名
2月		・第97号制作	
3月	15日(日)	・第97号発行	
	26日(木)	第7回広報委員会 ・令和元年度総括について ・第98号企画	委員5名

(3) 防火管理委員会

【ぶなの園総括】

1 防災関係事業の重点

〈計画〉

- ① 消防署から指導内容を踏まえて、法人のマニュアル等と照し合せながら、より安全な避難誘導を目指しながら訓練を実施する。

【評価】

総合訓練では、これまでの避難訓練による指導で得られた内容にて避難誘導が行われている。職員一人ひとりが安全第一を考えながら訓練に参加し、利用者の避難誘導にあたる事が出来ている。

- ② 年1回の夜間を想定した訓練と、火災・地震・土砂災害を含めた訓練を実施していく。

【評価】

夜間を想定した総合訓練では、夜勤者及び宿直者が如何に他職員の協力体制を確保し休んでおられる住人の方々を安全に避難させるのかを課題としながら取り組んだ。通報訓練等で使用している緊急連絡網では時間が掛かりすぎることから、次年度以降はメール配信を基本とするシステムの導入を検討する。

- ③ Web防災マップを活用した訓練の実施や近隣施設との協力体制を協議する。

【評価】

Web防災マップを活用した訓練実施には至らなかったが、今年度久しぶりに地域の協力者の参加を得ながら訓練を実施することが出来た。次年度は大災害発生に備えた法人としての判断基準の再構築を図りたい。

2 年間事業報告

期 日	種 別	実 施 内 容	提出先 参加対象者等
4月2日(火)	作 成	ぶなの園緊急連絡網 6月17日再作成	作成者：総務課長
5月14日(火)	委 員 会	30年度実施状況の確認 31年度消防署提出書類の確認 通報訓練について	防火管理委員5名
6月6日(木)	提 出	防災訓練計画書、防災組織図 緊急連絡網、区分別火元責任者	作成者：防火管理者 提出先：西和賀消防署
6月13日(木)	通報訓練	新緊急連絡網に沿った訓練 夜間に火災が発生を想定	職員27名
6月21日(金)	委 員 会	通報訓練の結果について 総合訓練の実施計画について	委員5名
7月5日(金)	総合訓練	日中における火災を想定した訓練を指導する。	総勢105名 消防署立会い
7月29日(月)	検 査	西和賀消防署建物立ち入り検査	消防署職員 危険物取扱責任者

8月22日(木)	点検	消防設備等の自主点検	防火管理者
9月20日(金)	委員会	総合訓練報告について 総合訓練について	委員4名
10月18日(金)	総合訓練	夜間火災を想定した総合訓練 地域協力者参加による訓練	総勢92名 消防署員・地域協力者
11月14日(水)	点検	緊急時の器具等の確認	防火管理者
12月10日(月)	講習会	心肺蘇生法及びAEDの講習	職員17名
1月16日(木)	研修	Web防災マップについて	防火管理者
1月24日(金)	研修	大規模災害対策研修	防火管理者
2月7日(金)	委員会	研修報告について 今年度活動実施状況の確認 来年度方針と計画	防火管理委員

【かたくりの園総括】

かたくりの園では、以下の3点を重点項目として訓練を実施している。

- ① 自然災害を想定した訓練の実施(土砂災害等・情報収集)
- ② 火災発生による避難訓練(指定待避所への誘導方法)
- ③ 地震発生による緊急対策(搬送・救護)

令和元年度では総合訓練を2回実施することができました。全国的に自然災害が多く発生していることから、7月は土砂災害により火災が発生したことを想定した訓練を実施している。また、11月の訓練ではデイサービス利用者と支援ハウス居住者の合同訓練として、地震発生を想定した訓練を実施している。消防署員の講評から、地域の情報を得ることで、避難経路等の判断材料となる事と、高齢者の避難はレベル3であることを再確認している。その他の訓練等は計画に沿って実施できている。その中でも、搬送・救護訓練を実施したことで、利用者から「職員が少ないのに自分たちも避難させてもらえるのか」などの不安や思いを確認することができたことは良かったと思っている。また、AEDを設置し操作方法等を職員全員で消防署から指導を受けて救急に対する意識も高まったと思う。

【防災訓練等実施状況】

期 日	種 別	実 施 内 容	提出先：参加対象者等
4月15日(月)	作成	かたくりの園緊急連絡網	作成者：防火管理者
5月14日(火)	委員会	平成30年度活動報告 令和元年度活動内容	防火管理者
5月21日(火)	提出	防災訓練計画書、防災組織図 緊急連絡網、区分別火元責任者	作成者：防火管理者 提出先：西和賀消防署
6月20日(木)	通報訓練	新緊急連絡網に沿った訓練	職員14名
6月21日(金)	委員会議	総合訓練について	防火管理委員

7月10日(水)	総合訓練	日中に土砂災害により火災が発生したことを想定した訓練	職員 11名 利用者 32名
8月23日(金)	点検	消防設備自主点検 外設備確認	点検者：防火管理者
9月13日(金)	避難訓練	緊急対策(搬送・救護)	介護 10名 看護 1名
9月20日(金)	委員会議	総合訓練について	防火管理委員
10月28日(月)	点検	消防設備自主点検 外設備確認	点検者：防火管理者
11月10日(水)	総合訓練	日中及び夜間に地震が発生したことを想定した訓練	職員 11名 利用者 26名・居住 3名
12月12日(木)	避難訓練	避難道・非常口・消火器設置場所の確認	防火管理者 居住者 6名
1月15日(水)	点検	消防設備自主点検 避難経路確保	点検者：防火管理者
2月7日(金)	委員会議	自主点検報告 今年度活動実施状況の確認 来年度方針と計画	防火管理者
3月11日(水)	避難誘導	震災から学ぶこと	利用者・居住者・職員

令和元年度

決 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

法人単位貸借対照表
令和2年3月31日現在

	資産の部			負債の部			増減
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	175,546,442	173,620,054	1,926,388	流動負債	47,797,012	51,498,663	△ 3,701,651
現金預金	91,842,425	93,861,637	△ 2,019,212	事業未払金	10,970,470	12,276,643	△ 1,306,173
事業未収金	83,687,037	79,758,417	3,928,620	預り金	27,823,892	29,774,058	△ 1,950,166
立替金	16,980	0	16,980	職員預り金	74,650	150,462	△ 75,812
				賞与引当金	8,928,000	9,297,500	△ 369,500
固定資産	521,382,006	540,667,318	△ 19,285,312	固定負債	31,041,561	33,000,289	△ 1,958,728
基本財産	361,811,586	383,810,166	△ 21,998,580	退職給付引当金	31,041,561	33,000,289	△ 1,958,728
建物	358,811,586	380,810,166	△ 21,998,580	負債の部合計	78,838,573	84,498,952	△ 5,660,379
基本財産特定預金	3,000,000	3,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	159,570,420	156,857,152	2,713,268	基本金	23,000,000	23,000,000	0
構築物	193,501	220,501	△ 27,000	第1号基本金	23,000,000	23,000,000	0
機械及び装置	45,515	65,722	△ 20,207	国庫補助金等特別積立金	339,092,025	359,044,298	△ 19,952,273
車輛運搬具	8,971,814	6,673,599	2,298,215	その他の積立金	106,400,000	109,400,000	△ 3,000,000
器具及び備品	12,917,529	7,496,541	5,420,988	備品等購入積立金	1,400,000	1,400,000	0
退職給付引当資産	31,041,561	33,000,289	△ 1,958,728	施設・設備整備積立金	105,000,000	108,000,000	△ 3,000,000
備品等購入積立資産	1,400,000	1,400,000	0	次期繰越活動増減差額	149,597,850	138,344,122	11,253,728
施設整備等積立資産	105,000,000	108,000,000	△ 3,000,000	(うち当期活動増減差額)	8,253,728	△ 8,087,266	16,340,994
その他の固定資産	500	500	0	純資産の部合計	618,089,875	629,788,420	△ 11,698,545
資産の部合計	696,928,448	714,287,372	△ 17,358,924	負債及び純資産の部合計	696,928,448	714,287,372	△ 17,358,924

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券等一償却減価法(定額法)

②上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①建物、建物附属設備、構築物、機械及び装置、器具及び備品、車輛運搬具

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法による。

②リース資産

所有者移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法による。

(3) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

岩手県社会福祉協議会の実施する退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち、法人の負担額に相当する金額を計上している。

②賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

(5) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

引き続き、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

(1) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度

全常勤職員並びに所定労働時間の3分の2以上の非常勤職員について、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

(2) 民間退職共済制度

全常勤職員並びに所定労働時間の3分の2以上の非常勤職員について、岩手県社会福祉協議会の実施する民間社会福祉事業職員共済事業に加入している。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令 第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令 第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業のみ実施しているため省略している。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令 第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令 第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため省略している。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令 第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため省略している。

(6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア ぶなの園拠点(社会福祉事業)

「法人本部」

「特別養護老人ホームぶなの園」

「ショートステイサービスぶなの園」

「ホームヘルプステーションぶなの園」

「デイサービスセンターぶなの園」

「西和賀介護相談室」

イ かたくりの園拠点(社会福祉事業)

「デイサービスセンターかたくりの園」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	380,810,166	0	21,998,580	358,811,586
基本財産特定預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	383,810,166	0	21,998,580	361,811,586

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産
該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	587,094,852	228,283,266	358,811,586
小計	587,094,852	228,283,266	358,811,586
その他の固定資産			
構築物	4,470,000	4,276,499	193,501
機械及び装置	340,200	294,685	45,515
車輛運搬具	38,828,141	29,856,327	8,971,814
器具及び備品	34,255,299	21,337,770	12,917,529
その他の固定資産	500	0	500
小計	77,894,140	55,765,281	22,128,859
合計	664,988,992	284,048,547	380,940,445

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	83,687,037	0	83,687,037
合計	83,687,037	0	83,687,037

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

12. 関連当事者との取引の内容
該当なし

13. 重要な偶発債務
該当なし

14. 重要な後発事象
該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

法人単位資金収支計算書
(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	364,367,000	367,674,163	△ 3,307,163	
	経常経費寄附金収入	3,000	100,000	△ 97,000	
	受取利息配当金収入	3,000	10,104	△ 7,104	
	その他の収入	5,123,000	5,696,333	△ 573,333	
	事業活動収入計(1)	369,496,000	373,480,600	△ 3,984,600	
	支出				
人件費支出	251,156,000	249,618,536	1,537,464		
事業費支出	58,573,000	56,257,901	2,315,099		
事務費支出	55,229,000	50,808,480	4,420,520		
利用者負担軽減額	2,578,000	2,572,305	5,695		
その他の支出	1,945,000	1,897,571	47,429		
事業活動支出計(2)	369,481,000	361,154,793	8,326,207		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	15,000	12,325,807	△ 12,310,807		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出	12,123,000	12,025,996	97,004	
施設整備等支出計(5)	12,123,000	12,025,996	97,004		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 12,123,000	△ 12,025,996	△ 97,004		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	14,052,000	8,051,005	6,000,995	
	その他の活動収入計(7)	14,052,000	8,051,005	6,000,995	
	支出				
	積立資産支出	4,294,000	3,092,277	1,201,723	
その他の活動支出計(8)	4,294,000	3,092,277	1,201,723		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	9,758,000	4,958,728	4,799,272		
予備費支出(10)	30,000	—	30,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,380,000	5,258,539	△ 7,638,539		
前期末支払資金残高(12)		131,418,891	△ 131,418,891		
当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 2,380,000	136,677,430	△ 139,057,430		

法人単位事業活動計算書
(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	367,674,163	350,957,447	16,716,716
	経常経費寄附金収益	100,000	102,000	△ 2,000
	サービス活動収益計(1)	367,774,163	351,059,447	16,714,716
	費用			
	人件費	247,290,308	238,920,179	8,370,129
	事業費	56,257,901	56,220,949	36,952
	事務費	50,808,480	59,079,105	△ 8,270,625
	利用者負担軽減額	2,572,305	1,865,640	706,665
	減価償却費	26,352,580	26,876,889	△ 524,309
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 19,952,273	△ 21,511,741	1,559,468	
サービス活動費用計(2)	363,329,301	361,451,021	1,878,280	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,444,862	△ 10,391,574	14,836,436	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	10,104	9,618	486
	その他のサービス活動外収益	5,696,333	4,137,217	1,559,116
	サービス活動外収益計(4)	5,706,437	4,146,835	1,559,602
	費用			
その他のサービス活動外費用	1,897,571	1,842,527	55,044	
サービス活動外費用計(5)	1,897,571	1,842,527	55,044	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,808,866	2,304,308	1,504,558	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	8,253,728	△ 8,087,266	16,340,994	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	特別費用計(9)	0	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,253,728	△ 8,087,266	16,340,994	
繰越				
前期繰越活動増減差額(12)	138,344,122	133,099,388	5,244,734	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	146,597,850	125,012,122	21,585,728	
活動増減差額の部				
基本金取崩額(14)				
その他の積立金取崩額(15)	3,000,000	13,332,000	△ 10,332,000	
その他の積立金積立額(16)				
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	149,597,850	138,344,122	11,253,728	

財産目録
令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	91,842,425
普通預金	花巻農業協同組合 沢内支店他	—	運転資金	—	—	91,842,425
事業未収金		—	2月、3月介護給付費他	—	—	83,687,037
立替金		—		—	—	16,980
流動資産合計						175,546,442
2 固定資産						
(1) 基本財産						
建物	(特別養護老人ホーム ぶなの園) 西和賀町沢内字太田2地割135番地	2009年度	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している。	496,046,084	200,813,934	295,232,150
	(かたくりの園デイサービスセンター) 西和賀町沢内大野17地割140番地1	2009年度	第2種社会福祉事業である、老人デイサービスに使用している。	91,048,768	27,469,332	63,579,436
小計						358,811,586
基本財産特定預金	花巻農業協同組合 沢内支店	—	法人設立時に基本財産として保有する必要がある定期預金	—	—	3,000,000
基本財産合計						361,811,586
(2) その他の固定資産						
構築物	南側広場舗装工事 他1件	—	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している。	4,470,000	4,276,499	193,501
機械及び装置	電気錠制御装置設置	—	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している。	340,200	294,685	45,515
車輦運搬具	三菱ミニキャブ5622 他17件	—	相談業務巡回等に使用している。	38,828,141	29,856,327	8,971,814
器具及び備品	ステリキャビネットTFA-10 他54件	—	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している。	34,255,299	21,337,770	12,917,529
退職給付引当資産	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	—	将来の職員の退職金のため加入している退職共済制度の法人負担分	—	—	31,041,561
備品等購入積立資産	花巻農業協同組合 沢内支店	—	将来の備品等購入の目的のため、積立てている定期預金	—	—	1,400,000
施設整備等積立資産	花巻農業協同組合 沢内支店	—	将来の施設整備の目的のため、積立てている定期預金他	—	—	105,000,000
その他の固定資産	岩手県火災共済協同組合	—	出資金	—	—	500
その他の固定資産合計						159,570,420
固定資産合計						521,382,006
資産合計						696,928,448
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月 社会保険料他	—		—	—	10,970,470
預り金	介護報酬他	—		—	—	27,823,892
職員預り金		—		—	—	74,650
賞与引当金	当該年度算定賞与引当金	—		—	—	8,928,000
流動負債合計						47,797,012
2 固定負債						
退職給付引当金	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	—		—	—	31,041,561
固定負債合計						31,041,561
負債合計						78,838,573
差引純資産						618,089,875